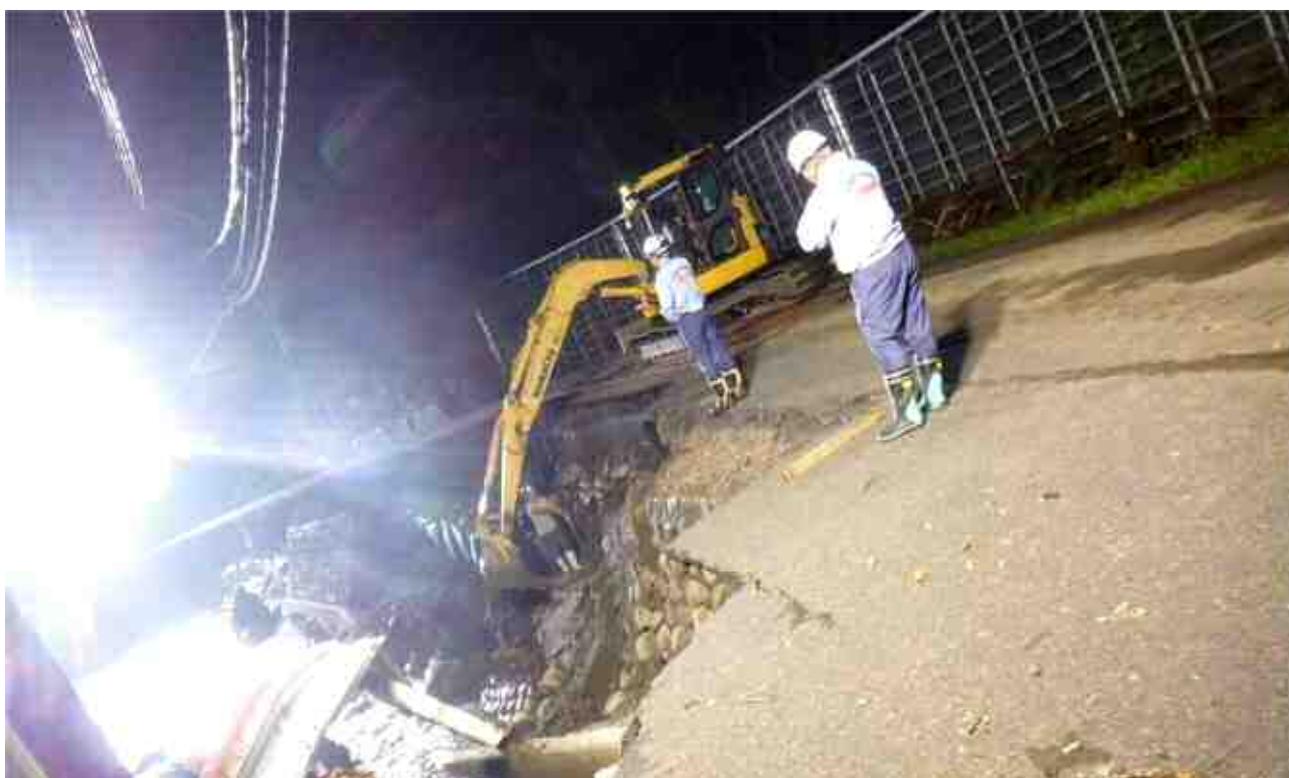




復旧工事開始

令和5年8月17日 14:24 佐治町森坪上の国道482号

令和5年8月台風第7号災害と復旧復興の記録



夜間工事

令和5年8月17日 21:55 佐治町余戸上の国道482号

災害に強い佐治町創り事業実行委員会

はじめに

災害に強い佐治町創り事業実行委員会
会長 小谷繁喜

令和5年8月15日の台風第7号による豪雨は、昭和57（1982）年に佐治支所に設置されたアメダス（地域気象観測システム）データによると、最大時間雨量 87.5 mm、最大 24 時間雨量 515 mmという観測史上最大値を記録しました。幸いにも人的な被害はありませんでしたが、一部の家屋、道路、河川、農地農業用施設などを中心に甚大な被害が発生しました。被害を受けられた皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

発災後、全国各地から励ましのお言葉や救援物資など心温まるご支援や、猛暑の中でのボランティアの方々による力強いご支援等に感謝するとともに、あらためて人と人のつながり、支え合うことの大切さを認識したところです。

さて佐治町では、この台風災害を契機に、令和5年12月に「できることは住民主体で災害に備えていこう」と町内の26集落で構成する自治連合会や地域の関連団体等で構成された「災害に強い佐治町創り事業実行委員会」を組織し様々な取り組みを行っています。

令和5年度は、鳥取県の補助事業を活用して防災に特化した住民アンケートの実施や、平成30年の西日本豪雨で被災した岡山県高梁市への視察調査を行い、それらを総括した「災害に強い地域を考える集い」を実施しました。

令和6年度には、大きな二つの取り組みを進めてきました。

一つは、災害発生から1年となる8月に、地域住民や関係団体、行政が力を合わせ「復光（ふっこう）」に取り組む気持ちを新たにするための「佐治復光祭」の実施です。これにより、地域住民の皆さんと、災害に強い地域づくりにとどまらず、将来に向けて光り輝く佐治町を目指す意識の共有を図ることができました。

もう一つは、災害の記憶を後世に引き継ぐ記録誌の作成の取り組みです。甚大な被害を及ぼした災害の経過と経験、さらには当時の対応、そこから得た教訓等をまとめることは非常に重要で有意義なことであります。

鳥取市の支援・協力のもと作成した、この記録誌「令和5年8月台風第7号災害と復旧復興の記録」は、災害から約1年半が経過した今、道路、河川、農地など公共インフラ面での復旧は一步一步着実に進展し、元の佐治町に戻りつつあるなか、災害の記憶を風化させることなく住民皆さんの心にとどめ、今後の災害対応や危機管理、防災意識の更なる向上の一助となっていくのではと考えています。

本誌の発刊が、自助・共助・公助にわたる取組を更に推し進める契機となり、災害に強い佐治町創りが実現することを祈念するとともに、編集編纂にご協力いただきました、関係者の皆様に深く感謝申し上げます、巻頭のごあいさつとさせていただきます。

目次

| | |
|----------------------------------|-----------|
| はじめに..... | I |
| 1 災害概要..... | 1 |
| (1) 気象概要(気象庁)..... | 1 |
| 台風7号の経路..... | 1 |
| (2) 降水量..... | 2 |
| ①佐治町総合支所アメダスデータ(気象庁)..... | 2 |
| ②佐治川ダムの降水量データ(鳥取県)..... | 2 |
| ③アメダス期間降水量(気象庁)..... | 3 |
| ④地上天気図・気象衛星赤外面像・レーダー画像(気象庁)..... | 3 |
| 参考:佐治のアメダスデータ要素ごとの順位(気象庁)..... | 5 |
| (3) 避難情報の発令など..... | 5 |
| ①避難情報発令・発災からの経過(佐治町関連)..... | 5 |
| ②気象警報等・配備体制(鳥取市)..... | 7 |
| 参考:鳥取市における災害時配備体制..... | 8 |
| 2 被害状況..... | 9 |
| (1) 人的被害..... | 9 |
| (2) 建物被害..... | 9 |
| 被害写真..... | 9 |
| (3) 道路被害..... | 10 |
| 被害写真..... | 10 |
| (4) 河川被害..... | 12 |
| R5 補助災 県関係復旧箇所地区別件数 45 件..... | 12 |
| 被害写真..... | 13 |
| (5) 水道被害..... | 13 |
| 水道関係の被害状況..... | 13 |
| 被害写真..... | 14 |
| (6) 下水関係..... | 14 |
| 下水関係 13 件..... | 14 |
| (7) 農林関係被害..... | 14 |
| 地区別農林関係被害個所数..... | 14 |
| 被害写真..... | 15 |
| (8) 停電..... | 15 |
| 参考:県補助災位置図..... | 16 |
| 3 被災者支援の取り組み..... | 17 |
| (1) 避難情報に伴い開設した避難所..... | 17 |
| (2) 避難所の環境整備..... | 17 |
| (3) 保健・医療活動..... | 17 |
| (4) 児童生徒支援..... | 17 |
| (5) 被災農業者支援..... | 18 |
| 参考:鳥取市の避難所の開設状況..... | 19 |

| | |
|---------------------------------|----|
| 4 復旧・復興に向けて..... | 20 |
| (1) 災害復旧の状況..... | 20 |
| ①住宅被害..... | 20 |
| ②道路被害..... | 21 |
| (2) 災害復興の取組..... | 22 |
| ①災害に強い佐治町創り事業実行委員会の設置と取り組み..... | 22 |
| ②鳥取県・鳥取市の取り組み..... | 24 |
| 5 参考資料..... | 25 |
| (1) 経費:鳥取市台風第7号災害復旧・復興予算額..... | 25 |
| (2) 鳥取県の公共土木施設災害復旧事業費..... | 25 |
| (3) 災害復旧・復興本部の設置..... | 26 |
| (4) 国による激甚災害指定..... | 26 |
| (5) 歳入に係る事項..... | 26 |
| (6) 佐治川ダムの放流操作..... | 26 |
| ①通常時の放流..... | 26 |
| ②事前放流（洪水調節機能の強化）..... | 27 |
| ③洪水調整時の放流..... | 27 |
| ④緊急放流（異常洪水時防災操作）..... | 27 |
| (7) 佐治川流域安全確保のロードマップ..... | 28 |
| (8) 佐治川流域安全確保協議会意見交換内容..... | 29 |
| ①意見交換会の目的..... | 29 |
| ②日時..... | 29 |
| ③場所..... | 29 |
| ④出席者..... | 29 |
| ⑤各集落からの主な意見概要..... | 29 |
| (9) 災害を伝える新聞記事..... | 31 |
| おわりに..... | 41 |

この記録誌に掲載している写真、記事は、鳥取県、鳥取市、日本赤十字社及び新日本海新聞社が記録したもののほか、多くの市民の方から提供をいただいたものです。

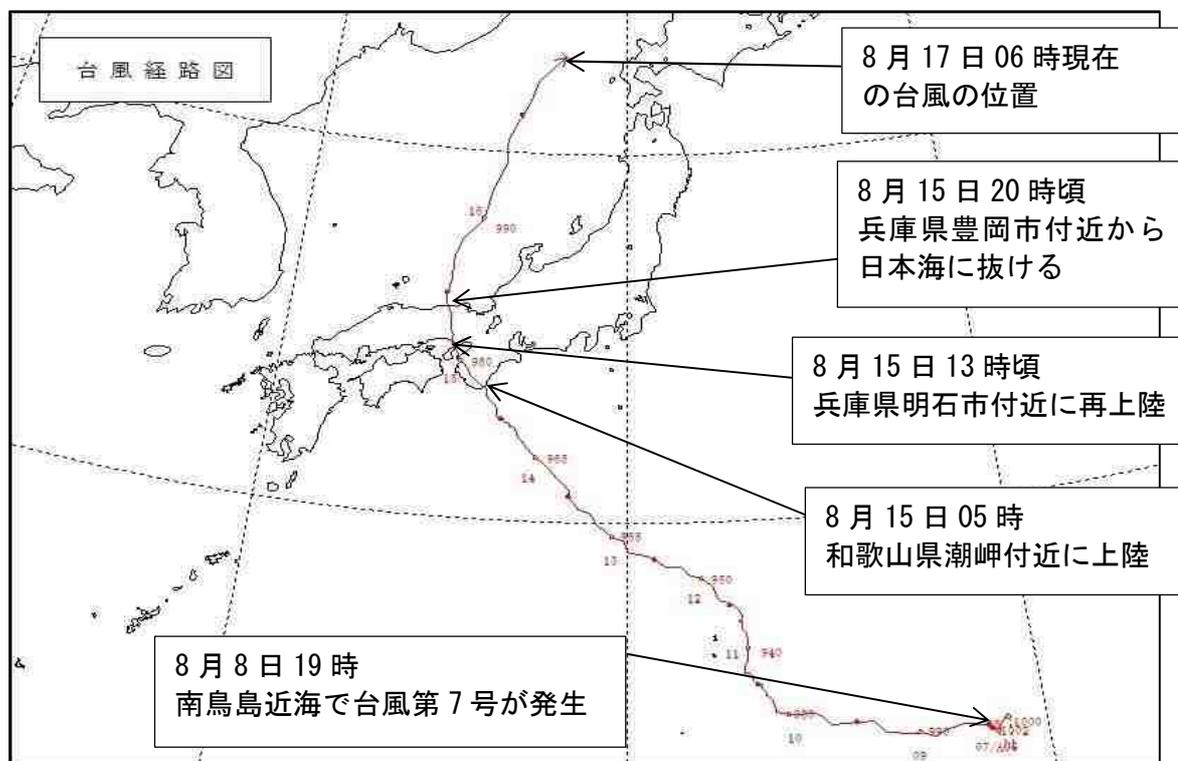
1 災害概要

(1) 気象概要（気象庁）

台風第7号は、8月15日05時前に和歌山県潮岬付近に上陸、その後近畿地方を北西に進み、13時頃には兵庫県明石市付近に再上陸した。再上陸後は兵庫県を北上し20時頃には豊岡市付近から日本海に抜けて北東に進んだ。台風の通過や台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込んだため、近畿地方や中国地方を中心に記録的な大雨となった。

15日は鳥取県と岡山県に線状降水帯が発生し、鳥取県では大雨特別警報を発表した。8月13日09時から16日09時までの期間(72時間)の降水量は、奈良県下北山村佐田で580.5ミリ、奈良県十津川村葛川で559.0ミリ、和歌山県那智勝浦町色川で566.0ミリを観測した。この期間、京都府福知山市坂浦、兵庫県養父市八鹿、奈良県下北山村佐田、岡山県鏡野町恩原、鳥取県鳥取市佐治町などでは日降水量が年間の極値を更新した。

台風7号の経路

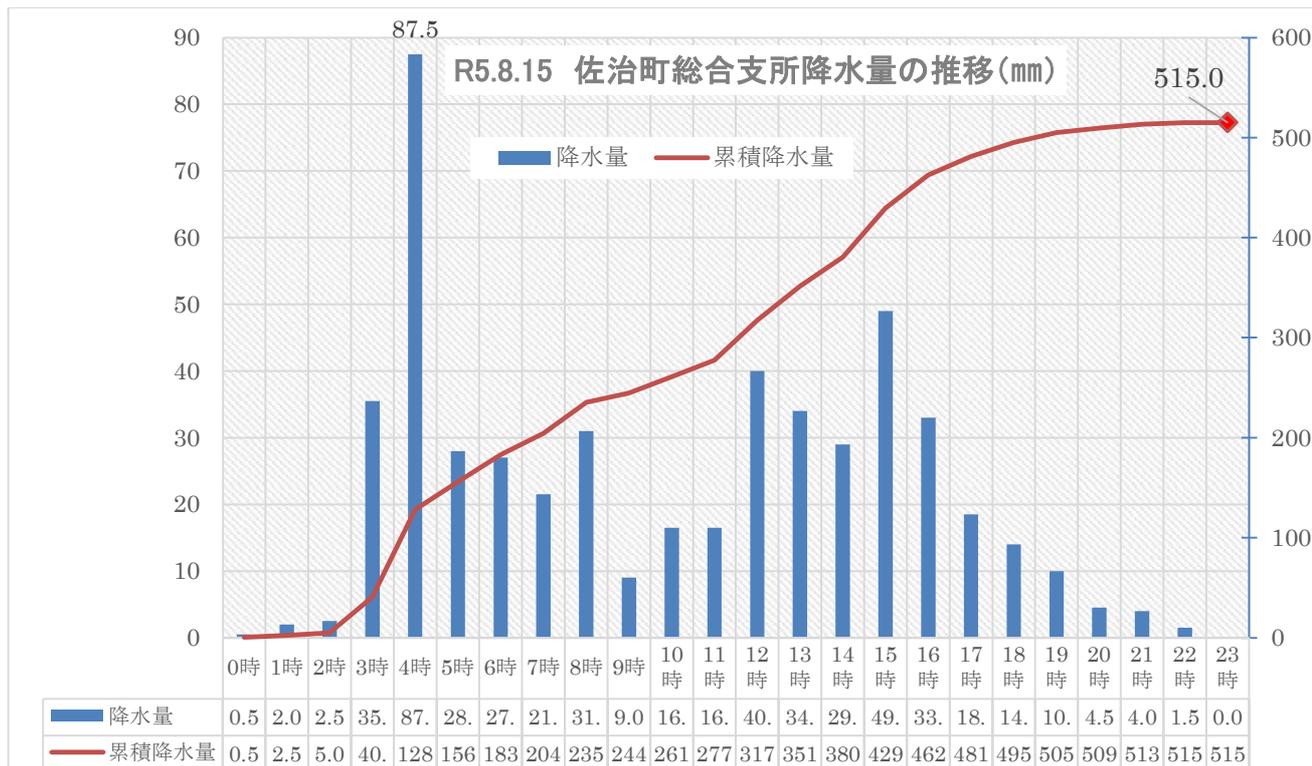


令和5年8月の台風第7号(Lan ラン)はカテゴリー4 (SSHWS) の台風で、左の写真は8月11日4時ごろに撮影された衛星写真(wikipedia)。

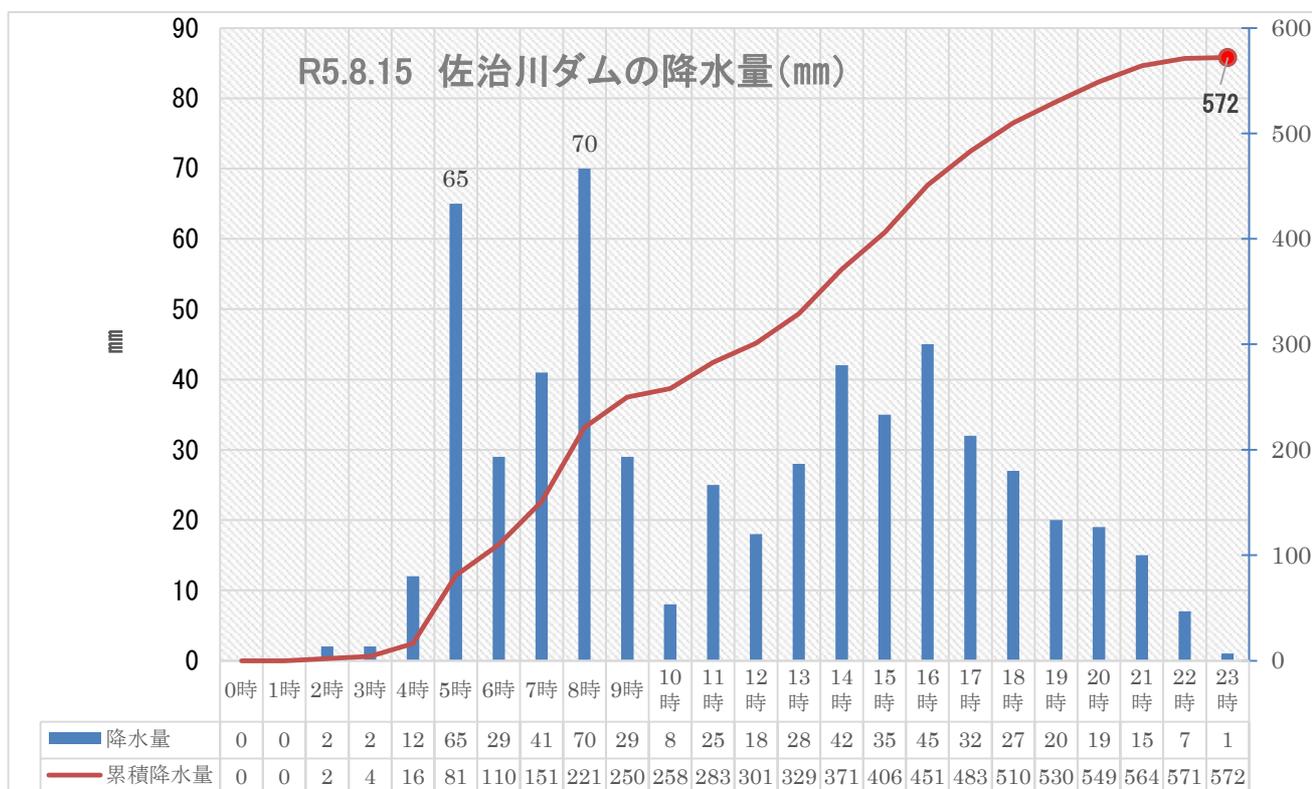
SSHWSの基準では1分間の最大持続風速がカテゴリー1が風速33-42m、カテゴリー2が風速43-49m、カテゴリー3が風速50-58m、カテゴリー4が風速58-70m、カテゴリー5が風速70m以上の台風で、11日3時にはカテゴリー4の非常に強い台風となった。

(2) 降水量

①佐治町総合支所アメダスデータ（気象庁）



②佐治川ダムの降水量データ（鳥取県）

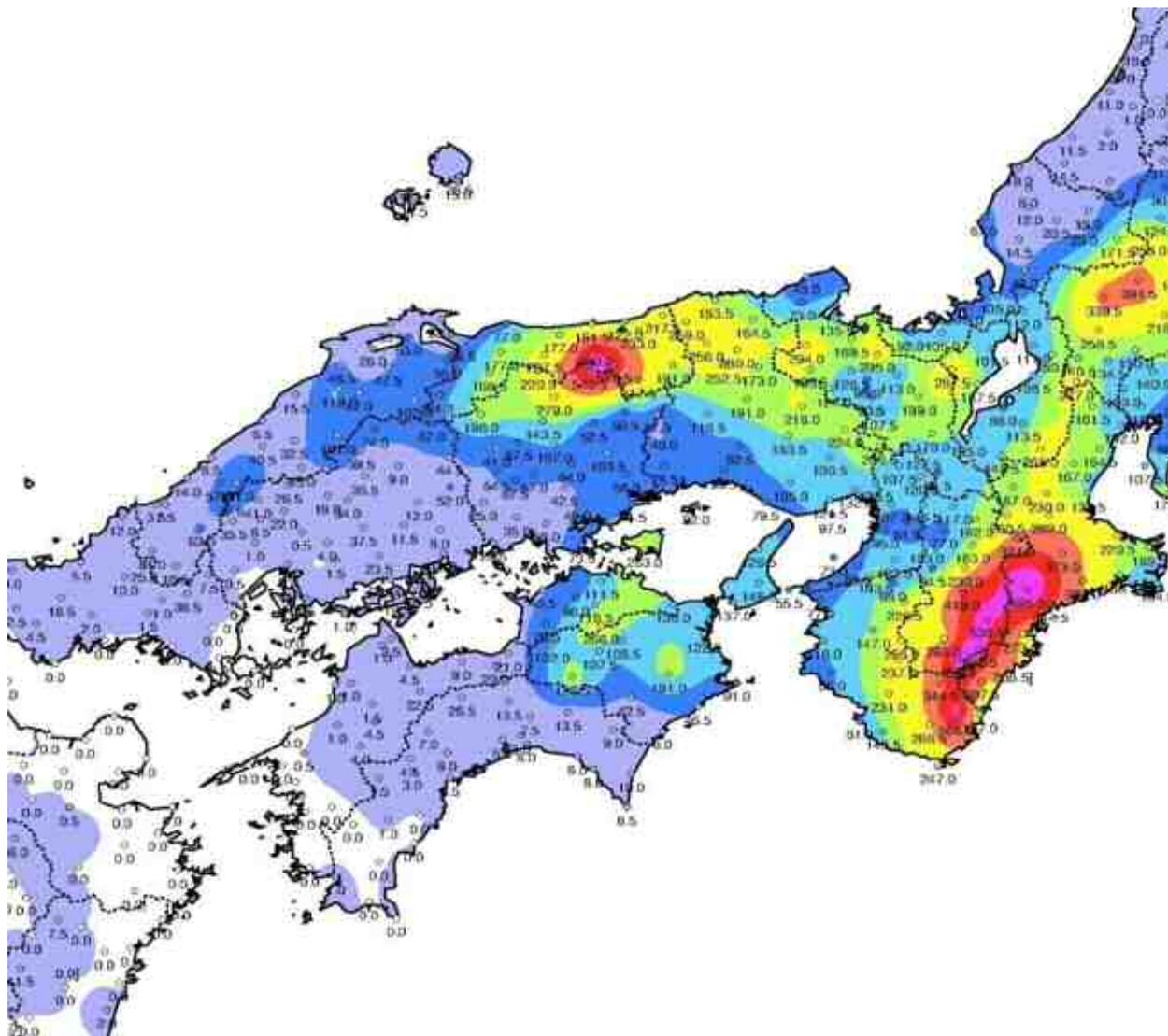
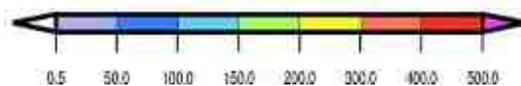


ダム操作等の時刻

4:30 放流開始予告 → 6:40 洪水発生 → 8:15 緊急放流の可能性通知 → 9:00 緊急放流の延期
 → 14:20 緊急放流の可能性通知 → 15:30 緊急放流の予告 → 16:40 緊急放流の開始
 → 19:40 緊急放流の終了 → 22:20 洪水終了

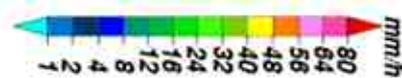
③アメダス期間降水量（気象庁）

8月13日09時～16日09時 72時間

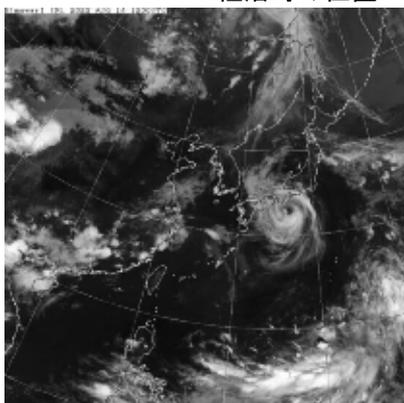
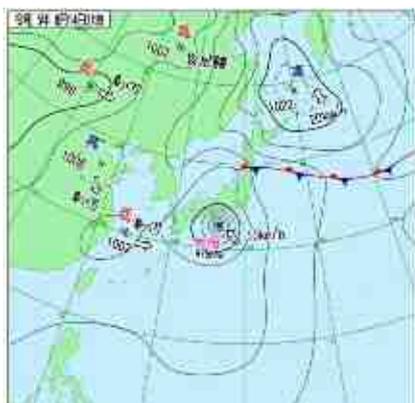


④地上天気図・気象衛星赤外画像・レーダー画像（気象庁）

8月14日21時



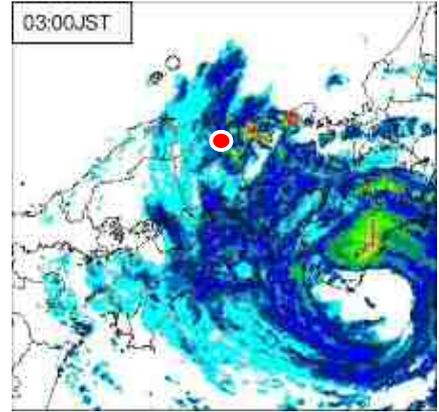
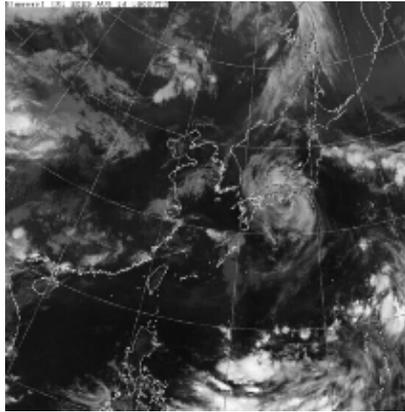
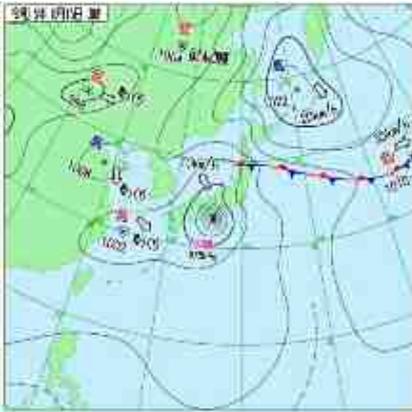
●：佐治町の位置



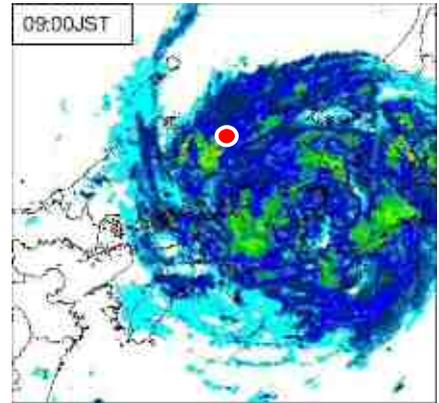
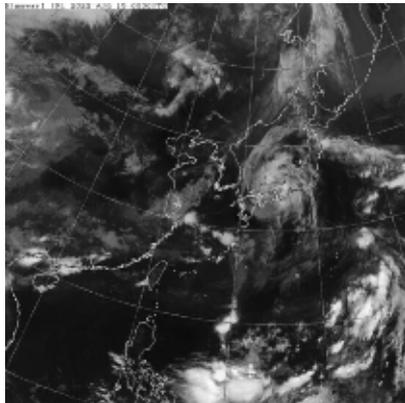
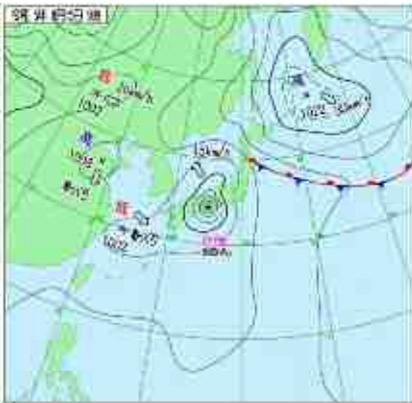


● : 佐治町の位置

8月15日 03時

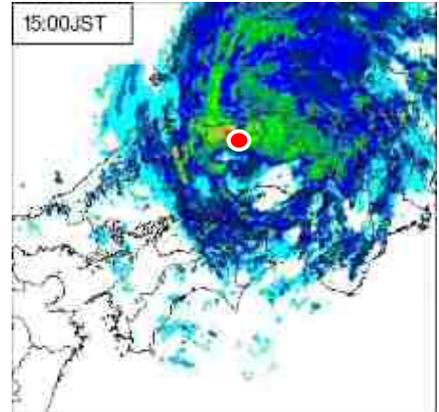
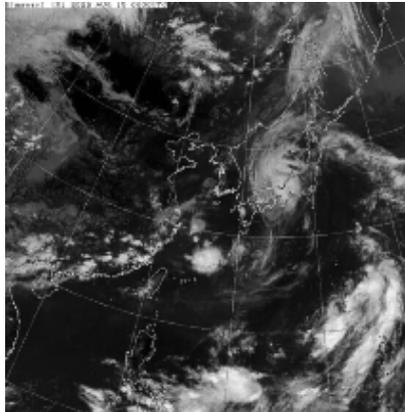


8月15日 09時



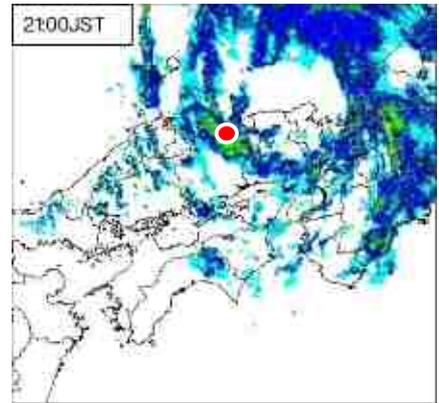
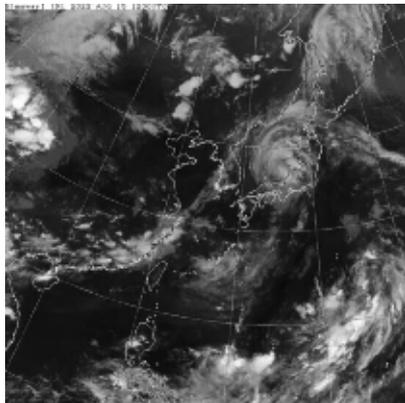
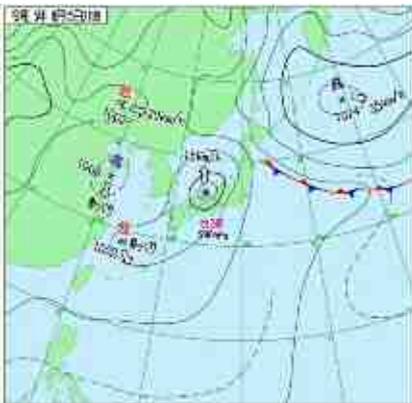
● : 佐治町の位置

8月15日 15時



● : 佐治町の位置

8月15日 21時



● : 佐治町の位置

参考：佐治のアメダスデータ要素ごとの順位（気象庁）

（単位：mm）

| 要素名／順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 | 統計期間 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------------------|
| 日降水量 | 515 | 288 | 284.5 | 230.5 | 227 | 209.5 | 205.5 | 201 | 194 | 191 | 1982/6/1~ 2024/8/1 |
| | 2023/8/15 | 1990/9/19 | 2011/9/3 | 2017/8/7 | 2004/10/20 | 2017/9/17 | 2018/9/30 | 2021/8/14 | 2014/10/13 | 1997/6/28 | |
| 日最大10分間降水量 | 24.5 | 18 | 17.5 | 17.5 | 16.5 | 16.5 | 15.5 | 15 | 14 | 14 | 2009/2/1~ 2024/8/1 |
| | 2023/8/15 | 2024/7/14 | 2020/9/26 | 2014/8/17 | 2012/7/28 | 2009/7/4 | 2010/7/12 | 2011/8/11 | 2021/7/8 | 2015/9/1 | |
| 日最大1時間降水量 | 97.5 | 67 | 52 | 51 | 51 | 51 | 48 | 48 | 45.5 | 43 | 1982/6/1~ 2024/8/1 |
| | 2023/8/15 | 2008/7/13 | 2017/9/17 | 1998/7/22 | 1997/8/5 | 1990/8/9 | 2020/9/26 | 1996/7/14 | 2024/7/14 | 2021/7/8 | |
| 月降水量の多い方から | 775 | 693.5 | 645 | 585.5 | 540.5 | 524.5 | 508 | 504 | 500 | 491 | 1982/6/1~ 2024/7/1 |
| | 2018/9 | 2011/9 | 1990/9 | 2023/8 | 2017/10 | 2014/8 | 1997/7 | 2004/10 | 2018/7 | 1989/9 | |
| 月降水量の少ない方から | 2 | 15 | 25 | 30 | 36 | 43 | 45 | 53 | 54 | 55 | 1982/6/1~ 2024/7/1 |
| | 1985/8 | 1994/7 | 2020/8 | 2005/6 | 1999/8 | 2000/8 | 2001/4 | 2003/10 | 1987/4 | 1997/10 | |
| 年降水量の多い方から | 2831 | 2791.5 | 2732 | 2697 | 2665 | 2566 | 2564 | 2561 | 2508 | 2499 | 1982年~ 2023年 |
| | 2011 | 2017 | 1993 | 1990 | 2018 | 1989 | 2004 | 1997 | 2023 | 2001 | |
| 年降水量の少ない方から | 1793 | 1803 | 1833 | 1843 | 1939 | 1949 | 1977 | 2025 | 2031 | 2073 | 1982年~ 2023年 |
| | 2022 | 1984 | 2007 | 1994 | 1987 | 2002 | 2005 | 2019 | 1986 | 1999 | |

※上記表の上段が水量、下段が時点を表す。また、黄色網掛け部分が令和5年台風第7号に関するもの。

(3) 避難情報の発令など

①避難情報発令・発災からの経過（佐治町関連）

| 月日 | 時 | 内容 |
|-------|-------|---|
| 8月15日 | 5:43 | 市道森坪線でのり面が崩落 |
| | 6:00 | R482 畑地内土砂流入 |
| | 5:30 | 佐治町総合支所記念ホールで浸水 |
| | 6:53 | 佐治町総合支所に自主避難所を開設 |
| | 7:18 | 防災行政無線で自主避難所開設の放送 |
| | 8:07 | 警戒レベル3 高齢者等避難発令 避難原因：清水川の水位上昇、土砂災害の恐れがあるため 対象地域：美保南地区、河原町、用瀬町、佐治町（9,440世帯、22,266人） 防災行政無線で高齢者等避難指示発令を放送 避難所（佐治町地域活性化センター）開設 |
| | 8:30 | 音声告知放送で高齢者等避難指示を放送 避難所（佐治町地域活性化センター）開設の放送 |
| | 9:53 | 警戒レベル4 避難指示発令 避難原因：佐治川の水位上昇 対象地域：佐治町葛谷（上葛谷、葛谷）、古市、加瀬木（加瀬木、下加瀬木）（175世帯、398人） 防災行政無線で避難指示発令を放送 避難所（佐治町コミュニティーセンター）開設 |
| | 10:00 | 音声告知放送で避難指示発令を放送 避難所（佐治町コミュニティーセンター）開設の放送 |
| | 16:15 | 音声告知放送で佐治川ダムの緊急放流と緊急安全確保の放送 |
| | 16:17 | 警戒レベル5 緊急安全確保発令 避難原因：佐治川ダムの緊急放流のため |

| 月日 | 時 | 内容 |
|-------|--------|--|
| | 16:17 | 対象地域：佐治町葛谷（上葛谷、葛谷）、古市、加瀬木（加瀬木、下加瀬木）、河本、森坪、用瀬町別府、古用瀬（436世帯、1,018人） 防災行政無線で緊急安全確保発令を放送 避難所（佐治町B&G海洋センター）開設 |
| | 16:40 | 佐治川ダム緊急放流開始 |
| | 17:30～ | 刈地橋歪み、高山橋破損、R482などで被害情報相次ぐ |
| | 18:10 | 高山橋崩壊により中佐治地区の水道使用不能 |
| | 19:41 | 緊急放流終了 |
| 8月16日 | 5:45 | N T T回線断線のため使用不能（佐治町全体） |
| | 5:45 | R482 他の道路規制報道を告知端末放送 |
| | 7:00 | 警戒レベル4 避難指示（緊急安全確保からの変更） 避難原因：土砂災害のおそれがあるため 対象地域：鳥取市全域 |
| | 7:40 | さじ未来号（公共交通）当分の間運休 |
| | 7:57 | 防災行政無線で R482 佐治町地内の全線通行止めを放送 |
| | 8:00 | R482 細尾西側で土砂流入、以奥通行不能 |
| | 8:20 | 余戸集落に給水ポリタンクを搬入 |
| | 9:00 | 辰巳峠で大規模な土砂崩れ、県境通行不能 小河内加茂線津野で通行不能 |
| | 14:50 | 市役所職員による応援隊到着、支援物資到着 |
| | 16:20 | う回路開設のお知らせ（県道小河内加茂線、市道華立薬師線） |
| | 17:45 | 電線改修に伴う停電のお知らせ（古市、森坪、加瀬木、大井、湊尻） |
| 8月17日 | 10:15 | たんぼり荘宿泊者全員を河原道の駅に送り届ける |
| | 13:23 | 断水177戸続く（加瀬木、湊尻、下加瀬木、高山、福園、万蔵、つく谷） |
| 8月18日 | 13:45 | 余戸より上緊急車両と地元車両のみ通行可能 |
| | 14:30 | R482 号福園地区17:00より片側通行可能 |
| | 17:30 | R482 号尾際地区通行止め解除 尾際、中、栃原の通行止め解除 |
| 8月20日 | 16:55 | 河本地区断水解消 |
| 8月22日 | 8:50 | 中佐治地区水道断水解消 R482 森坪～下加瀬木間通行可能 |
| 8月23日 | | さじ未来号運行再開 |
| 9月20日 | 13:00 | 辰巳峠通行規制解除 |
| 9月27日 | | 日の丸バス通常運行再開、さじ未来号通常運行再開 |

❖ 災害の警戒レベルは、災害のリスクがあるときに出される指標で、5段階のレベルで示される。災害発生の危険度と、とるべき避難行動が示されている。

| 警戒レベル | 状況 | とるべき行動 | 避難の情報 |
|--------------------------|----------------|--------------------|------------------|
| 5 | 災害発生 または切迫 | 危険な場所から 全員退避 | 緊急安全確保 |
| ■■■■■警戒レベル4までに必ず避難！■■■■■ | | | |
| 4 | 災害の おそれ高い | 危険な場所から 全員避難 | 避難指示 |
| 3 | 災害の おそれあり | 危険な場所から 高齢者等は避難 | 高齢者等避難 |
| 2 | 気象状況悪 化 | 自らの避難行動 を確認 | 大雨・洪水警報 (気象庁) |
| 1 | 気象状況悪 化のおそれ | 災害への心構え を高める | 早期注意情報 (気象庁) |

②気象警報等・配備体制（鳥取市）

| 日 | 時 | 内容 |
|-------|-------|---|
| 8月14日 | 14:00 | 市災害警戒庁内連絡会議開催 |
| 8月15日 | 4:34 | 鳥取市北部【大雨警報(土砂災害)・暴風警報】発表 鳥取市南部【大雨警報(土砂災害・浸水害)・洪水警報・暴風警報】発表 市災害警戒本部体制警戒配備を発令 |
| | 4:39 | 記録的短時間大雨情報第1号発表 河原付近で約100ミリ、佐治付近で90ミリ |
| | 4:54 | 鳥取市北部【大雨警報(土砂災害)・暴風警報】継続、【洪水警報】発表 |
| | 5:00 | 鳥取県土砂災害警戒情報第1号発表 対象地域：鳥取市北部・南部 |
| | 5:35 | 市災害対策本部体制第一配備を発令 |
| | 7:30 | 市災害対策本部会議を開催 |
| | 7:50 | 顕著な大雨に関する鳥取県気象情報第1号発表 対象地域：東部・中西部（発生は7:40） |
| | 8:07 | 市災害対策本部体制第三配備を発令 |
| | 8:19 | 記録的短時間大雨情報第3号発表 鹿野付近で約100ミリ、鳥取付近で約90ミリ |
| | 16:40 | 大雨特別警報（浸水害）発表 対象地域：鳥取市北部・南部 |
| | 17:20 | 大雨特別警報（土砂災害）発表 対象地域：鳥取市北部・南部 |
| | 19:00 | 県・市合同災害対策本部会議を開催 |
| | 23:10 | 鳥取市北部【大雨特別警報（浸水害・土砂災害）】解除 鳥取市南部【大雨特別警報（浸水害・土砂災害）】解除 |
| 8月16日 | 9:30 | 県・市合同災害対策本部会議を開催 現地（佐治町）災害対策本部の設置 |
| 8月17日 | 5:00 | 鳥取県土砂災害警戒情報第17号 全警戒解除 対象地域：鳥取市北部・南部 市災害対策本部体制第一配備を発令（第三配備から移行） |
| 8月18日 | 4:10 | 鳥取市北部【大雨警報（土砂災害）】解除 |
| 8月21日 | 16:15 | 市災害対策本部会議を開催 |
| | 17:05 | 市災害対策本部体制第一配備を解除 →令和5年台風第7号災害復旧・復興本部へ移行 |

参考：鳥取市における災害時配備体制

≪風水害時の配備体制基準≫

| 種別 | | 配備の基準 | 配備の内容 |
|----------|------|---|--|
| 警戒本部体制 | 注意配備 | 1 次の注意報等が1つ以上発表された場合で、危機管理部長が必要と認めたとき (1)大雨注意報 (2)高潮注意報 (3)洪水注意報 (4)大雪注意報 (5)強風注意報 (6)波浪注意報 (7)風雪注意報 (8)竜巻注意情報 2 災害が発生する恐れのある場合で、危機管理部長が必要と認めたとき | ○ 関係各部署は、気象情報等の情報収集及び情報連絡を行うとともに、その他必要な措置を講ずる |
| | 警戒配備 | 1 次の警報等が1つ以上発表された場合で、危機管理部長が必要と認めたとき (1)大雨警報 (2)高潮警報 (3)洪水警報 (4)大雪警報 (5)強風警報 (6)波浪警報 (7)暴風雪警報 (8)土砂災害警戒情報 (9)記録的短時間大雨情報 (10)水防警報 2 災害が発生するおそれのある場合で、危機管理部長が必要と認めたとき | ○ 注意配備体制を強化し、災害対策本部の設置に備える体制とする |
| 災害対策本部体制 | 第1配備 | 災害が発生し、若しくは発生するおそれがある場合、又その他の状況により、本部長が必要と認めたとき | ○ 関係各部署は、防災活動に従事し初動対応を行う ○ 関係各部署は、第2配備に対する準備を行う |
| | 第2配備 | 1 特別警報が発表されたとき。 2 事態が切迫し、市内の数地域において災害が発生し、若しくは発生するおそれがある場合、又はその他の状況により、本部長が必要と認めたとき | ○ 関係各部署は、防災活動に従事するとともに情報連絡を行い、対策を協議する ○ 関係各部署は、第3配備に対する準備を行う |
| | 第3配備 | 市の全域にわたり大規模な災害が発生すると予想される場合。又は災害が発生した場合で本部長が必要と認めたとき | ○ 市災害対策本部に関係のある職員は、全員防災活動に従事する ○ 各部署は防災活動に従事し、直接関係のない部課の職員にあつては部長の指示に従い、いつでも防災活動に従事できるように待機する |

2 被害状況

令和5年8月15日、台風最接近。佐治町では8月15日の24時間の降水量が佐治支所付近で昭和52年からのアメダス観測史上最多となる515ミリ、佐治川ダムで572ミリを観測した。佐治川ダムでは貯水量が洪水調節容量を超過したことから午後4時40分より約3時間、佐治川ダム緊急放流が行われた。佐治川ダム建設(昭和47年完成)後初の緊急放流となった。それに、佐治川支流の増水も加わり、被害が大きくなった。高山橋、刈地橋が崩落。国道482号線などが各所で損壊、通行不能となった。町民は加瀬木の佐治町コミュニティセンター等に100余名が避難。16日午後10時半、佐治町12集落が孤立し、停電が発生、断水も加瀬木、高山集落などで数日間続いた。

政府は、このたびの被害を激甚災害に指定し、鳥取県や鳥取市は、佐治町に災害対策現地事務所を設置し、道路等の復旧を進めるほか、農林業、住宅、生活、医療福祉、商工、教育等の支援を始めた。佐治町における激甚災害の復旧工事期間は令和8年3月までである。

(1) 人的被害

なし

(2) 建物被害

家屋全壊:1 家屋半壊:1 床上浸水:4 床下浸水:17

被害写真

※日付は撮影日



栢原 住宅敷地土砂流入 R5. 8. 20



中集会所敷地
集会所前 R5. 8. 20



土砂流入
集会所裏 R5. 8. 20



尾際 住宅床下浸水 R5. 8. 19



尾際 住宅敷地土砂流入 R5. 8. 20



加瀬木 倉庫流失 R5. 8. 24



加瀬木 住宅床下浸水 R5. 8. 26



加瀬木 住宅床上浸水 R5. 8. 28



津無 住宅床下浸水 R5. 8. 24

(3) 道路被害

佐治川水系における道路災害は、国道県道が75か所、市道等が124箇所になる。

被害写真



細尾上 高谷橋付近国道 R5. 8. 16



余戸 和田河原付近国道 R5. 8. 17



佐治町コミュニティーセンター前市道 R5. 8. 16



佐治町コミュニティーセンター前市道 R5. 8. 16



福園下から旧商工会館付近国道 R5. 8. 16



佐治町総合支所～加瀬木市道 R5. 8. 16



高山（佐治町総合支所前）国道 R5. 8. 23



高山橋橋げた落下市道 R5. 8. 16



湊尻集落上国道 R5. 8. 16



下加瀬木付近市道 R5. 8. 23



森坪上付近国道 R5. 8. 16



古市八幡坂付近国道 R5. 8. 16



旧刈地橋橋げた崩落 R5. 8. 16



別府付近国道 R5. 8. 21

(4) 河川被害

33 河川、64 箇所(奥ノ谷川護岸崩落ほか)

○ダム放流→佐治川ダムでは、貯水量が洪水調節容量を超過したことから、8月15日16:40から同日19:41の約3時間緊急放流を実施し、次の出水に向けた容量確保のため、下流の水位を確認しながら放流を行った。

R5 補助災 県関係復旧箇所地区別件数 45 件

| 番号 | 地区 | 河川 | 砂防 | 総計 |
|----|-----|----|----|----|
| 1 | 栃原 | | 5 | 5 |
| 2 | 尾際 | 5 | 2 | 7 |
| 3 | 河本 | 1 | | 1 |
| 4 | 余戸 | 5 | 1 | 6 |
| 5 | つく谷 | 1 | 3 | 4 |
| 6 | 畑 | 2 | | 2 |
| 7 | 加茂 | 3 | 1 | 4 |
| 8 | 福園 | 1 | | 1 |

| 番号 | 地区 | 河川 | 砂防 | 総計 |
|----|-----|----|----|----|
| 9 | 高山 | 1 | 4 | 5 |
| 10 | 加瀬木 | 2 | | 2 |
| 11 | 森坪 | 1 | | 1 |
| 12 | 古市 | 4 | | 4 |
| 13 | 津無 | | 1 | 1 |
| 14 | 葛谷 | 1 | | 1 |
| 15 | 小原 | 1 | | 1 |
| | 総計 | 28 | 17 | 45 |

被害写真



古市サンマイ付近 R5. 8. 16



刈地河原田付近 R5. 8. 17



加瀬木付近 R5. 8. 16



加瀬木黒住教会付近 R5. 8. 16

(5) 水道被害

水道関係の被害状況

| 番号 | 場所 | 原因 | 断水期間 | 影響戸数 |
|----|-----------|-----------------------------|---------------------------|------|
| ① | 佐治町高山、加瀬木 | 高山橋一部崩落による中佐治系配水管破損（添架管）による | 8月15日17:40～ 8月22日3:30 | 126戸 |
| ② | 佐治町福園 | 土砂崩れによる万蔵配水池系送水管破損による断水 | 8月15日19:00～ 8月17日17:30 | 10戸 |
| ③ | 佐治町余戸 | 導水管破損による断水 | 8月15日21:00～ 8月16日16:00 | 43戸 |
| ④ | 佐治町口佐治 | 華立浄水場停電による断水 | 8月15日19:20～ 8月17日7:30 | 207戸 |
| ⑤ | 佐治町つく谷 | 導水管破損による断水 | 8月16日21:00～ 8月18日18:30 | 41戸 |
| ⑥ | 佐治町河本 | 導水管破損による断水 | 8月19日8:00～ 8月20日16:40 | 23戸 |
| 計 | 佐治町全体 | | 8月15日17:40～ 8月22日3:30 | 450戸 |

被害と応急状況写真



上下水道破損 高山橋市道 R5. 8. 16



下水道管破損 別府国道 R5. 8. 16



水の袋詰め作業 佐治町総合支所前 R5. 8. 19 夜



応急給水作業 佐治町総合支所前 R5. 8. 19 夜

(6) 下水関係

下水関係 13 件

| 番号 | 地区名 | 件数 |
|----|-----|----|
| 1 | 中 | 1 |
| 2 | 余戸 | 1 |
| 3 | 福園 | 1 |
| 4 | 高山 | 4 |

| 番号 | 地区名 | 件数 |
|----|-----|----|
| 5 | 加瀬木 | 3 |
| 6 | 森坪 | 1 |
| 7 | 古市 | 2 |
| 計 | | 13 |

(7) 農林関係被害

地区別農林関係被害箇所数

| no | 地区名 | 計 |
|----|-----|----|
| 1 | 栃原 | 13 |
| 2 | 中 | 2 |
| 3 | 尾際 | 15 |
| 4 | 河本 | 50 |
| 5 | 余戸 | 58 |

| no | 地区名 | 計 |
|----|-----|----|
| 6 | つく谷 | 46 |
| 7 | 畑 | 5 |
| 8 | 加茂 | 9 |
| 9 | 福園 | 4 |
| 10 | 高山 | 47 |

| no | 地区名 | 計 |
|----|------|----|
| 11 | 津野 | 24 |
| 12 | 下加瀬木 | 4 |
| 13 | 森坪 | 9 |
| 14 | 大井 | 22 |
| 15 | 古市 | 27 |

| no | 地区名 | 計 |
|----|-----|-----|
| 16 | 津無 | 16 |
| 17 | 刈地 | 15 |
| 18 | 葛谷 | 21 |
| 総計 | | 387 |

被害写真



つく谷果樹園 R5. 8. 16



加茂付近水田 R5. 8. 16



大井熊野神社遺跡前水田 R5. 8. 16



大井熊野神社遺跡前水田 R5. 8. 16



古市付近水田 R5. 8. 16

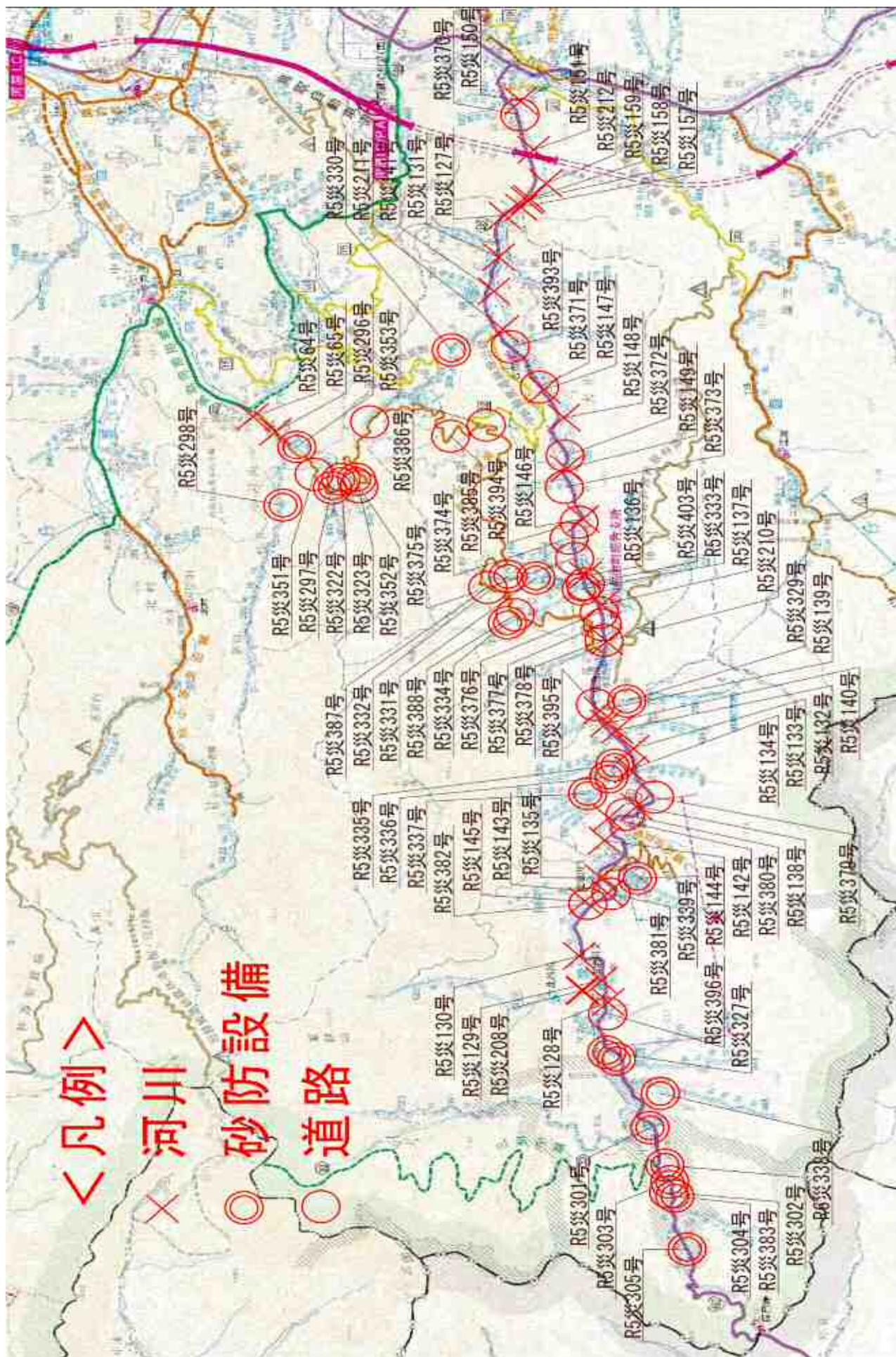


余戸和田河原付近水田 R5. 8. 17

(8) 停電

| NO | 日 | 時 | 内容 |
|----|-------|-------|---|
| 1 | 8月15日 | 17:05 | 津無停電 16日11:40復旧 |
| 2 | 8月16日 | 17:45 | 電線改修に伴う停電(古市、森坪、下加瀬木、大井、上大井、湊尻) |
| 3 | 8月18日 | 15:50 | 15:29より、加茂、余戸、河本、尾際、中、栃原が倒木撤去のため作業停電。16:40頃中電ホームページで復旧を確認。後に連絡あり。 |

参考：県補助災位置図



3 被災者支援の取り組み

8月15日6:53に佐治町総合支所に自主避難所を開設し、7:18に防災行政無線で自主避難所の開設を放送した。その後も避難情報の対象区域の拡大や避難勧告・避難指示の発令に伴い避難所を順次開設した。避難所の開設期間は下記のとおり。

(1) 避難情報に伴い開設した避難所

| NO | 避難所名 | 開設期間 | 避難者数 |
|----|---------------|----------------------|------|
| 1 | 佐治町総合支所自主避難所 | 8/15 6:53~8/18 4:10 | 10 |
| 2 | 佐治町コミュニティセンター | 8/15 9:53~8/18 9:00 | 68 |
| 3 | B&G 佐治海洋センター | 8/15 16:17~8/18 9:00 | 6 |
| 4 | 佐治町地域活性化センター | 8/15 8:07~8/18 4:10 | 19 |
| | 合計 | | 103 |

(2) 避難所の環境整備

各避難所には市職員(避難所班)を配置。佐治町総合支所及び佐治町コミュニティセンターの避難所は、発災日8月15日の夜間に毛布の提供、翌日8月16日の午前、鳥取市佐治町日赤奉仕団の協力のもと食事の提供を実施。

(3) 保健・医療活動

支所保健師は、災害発生日当日から電話での相談にあたった。次いで避難所の被災者について健康相談にあたった。8月18日からは、応援派遣を受けて、ハイリスク者の訪問、孤立集落被災者の支援を行った。8月17日からは、佐治診療所が再開し診療を始めるとともに、要支援者への巡回診察を行った。8月22日からは、80代以上の独居高齢者訪問を行った。



県庁から医師派遣(派遣前) R5. 8. 16



佐治支所へ救援物資搬入 R5. 8. 16

(4) 児童生徒支援

佐治小学校では夏季休業中であったため、8月16日は自宅待機とした。17日からは職員は千代南中学校で勤務することとし、児童の安否確認を行った。8月25日からは前期授業再開であったが児童の通学が困難だったため、千代南中学校においてリモートで児童と対話し、学習を行った。8月29日には千代南中学校で保護者会を行い通学方法の確認を行った。9月1日からさじ未来号での通学が可能となったため、バス通学児童はさじ未来号、そのほかの児童は保護者の車またはさじ未来号で通学してもらうこととした。バス通学費及び保護者ガソリン代は公費負担としてもら

った。給食は9月1日より再開した。佐治小学校については、8月16日から30日までは、やむを得ず工事車両用の道路として使用された。学校敷地内の環境整備は学校ボランティアの協力を得た。

(5) 被災農業者支援

佐治町全域農地が被災した。災害発生から直ちに職員により被災状況を確認した。また地元区長により被災状況の報告が寄せられた。市職員、派遣隊(県職員、国職員)の協力を得て迅速な被害状況の確認に努めた。水稻被害、果樹被害の拡大被害を防ぐため土嚢を積むなどの応急復旧及びつく谷では梨の運搬作業を行った。また福園地区には水中ポンプの貸し出しを行った。



つく谷果樹園 ボランティアによる作業 R5. 9. 15
果樹園の中を水が流れ、表土が流された



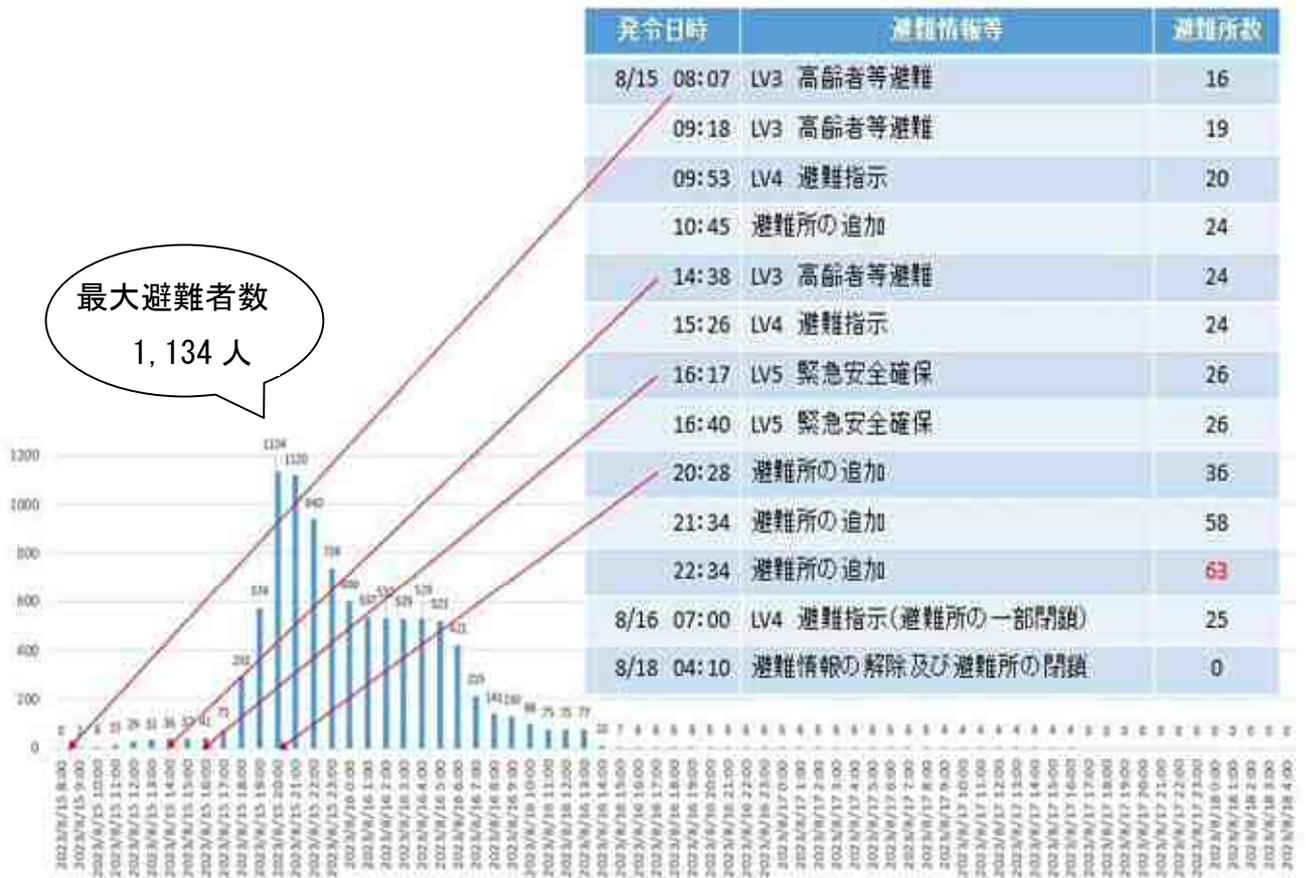
つく谷果樹園 ボランティアによる作業 R5. 8. 21
果樹園の中に土砂が流入した



上大井 畑地 ボランティアによる土砂撤去作業 R05. 8. 29

参考：鳥取市の避難所の開設状況

- (1) 開設避難所数 65 箇所(同時開設 63 箇所)
- (2) 避難世帯総数 720 世帯 避難者総数 1, 934 人
- (3) ピーク時の避難者数 8 月 15 日 20:00 時点 1, 134 人



4 復旧・復興に向けて

(1) 災害復旧の状況

①住宅被害



栃原 住宅敷地に土砂流入 R5. 8. 20
住宅裏の谷から土砂が流出した



土砂撤去 R5. 9. 1



集会所前



集会所裏

中集会所 土砂流入 R5. 8. 20
集会所裏の谷から土砂流入



中集会所裏 土砂撤去後 R5. 9. 1



中集会所前 土砂撤去後 R5. 9. 1



ボランティアによる土砂撤去作業 R5. 8. 31
(集会所裏)

②道路被害



余戸和田河原付近国道へ土砂流入 R5. 8. 17
写真左側の谷から土砂流入



余戸和田河原付近 R5. 8. 21
重機により路面上の土砂撤去（応急措置）



余戸和田河原付近 R5. 8. 17
道路崩壊 国道 482 崩落



余戸和田河原付近 R5. 8. 21
応急措置（片側交互通行）



佐治コミュニティセンター付近 R5. 8. 16
佐治川の氾濫により道路崩落



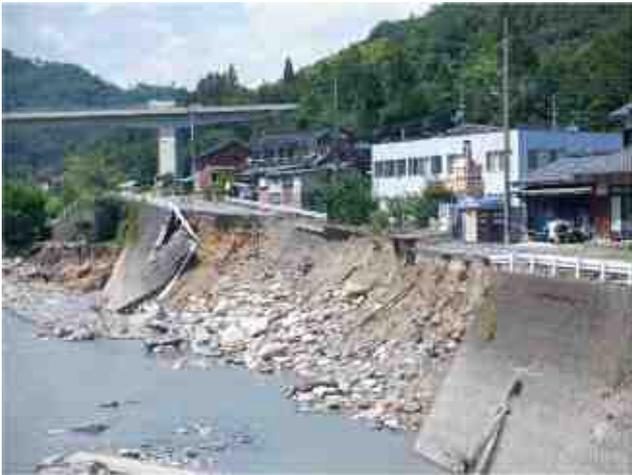
佐治コミュニティセンター付近 R6. 12. 9
復旧工事中



古市上八幡坂付近 R5. 8. 16
佐治川の氾濫により道路崩落



古市上八幡坂付近 R6. 8. 16
復旧工事完成



別府付近 R5. 8. 16
佐治川の氾濫により道路崩壊



別府付近 R6. 8. 23
復旧工事中

(2) 災害復興の取組

①災害に強い佐治町創り事業実行委員会の設置と取り組み

令和 5 年 12 月 15 日、地域住民主体の組織「災害に強い佐治町創り事業実行委員会」を設置し、復興に向けた各種取組を行っている。

令和 5 年度の取組

○先進地視察(岡山県高梁市)を実施。(R6.2.28)



○災害に強い地域を考える集いを実施。



プラザ佐治記念ホール R6. 3. 10

令和 6 年度 の取組

○集落(地区)で防災研修会を開催予定。(令和 6 年度は 4 か所程度を予定)



下加瀬木で研修会を実施 R6. 7. 28

○令和 5 年台風 7 号災害 1 年「佐治復光祭」を実施。

日時:令和 6 年 8 月 25 日(日)10:00~14:00

内容:

10:00~ オープニング [佐治巖流太鼓]

10:05~ 主催者あいさつ

10:10~ 来賓あいさつ

10:20~ アストロロケット打上げ

10:30~ さじっこ花笠踊り [さじ保育園園児]

10:45~ 合唱「五つのたからもの」[佐治小学校児童]

11:00~ 演奏 [千代南中学校 brassバンド部]

11:15~ 研究発表「令和 5 年台風第 7 号災害の研究」

千代南中学校郷土研究部 山下仁聖さん

11:30~ 《タイムカプセル開封》

(佐治小学校統合 50 周年記念事業)

《昼食タイム》

12:30~ 太鼓演奏「躍動, 流星」[佐治巖流太鼓]

12:45~ 踊り「きなんせ節, 鳥取戦士サキューンのテーマ, しゃんしゃんシャグリラ」

[舞踊集団「我龍天晴」]

13:00~ 井谷優太さんコンサート

14:00~ 参加者, 来場者による和紙入りバルーンリリース



佐治保育園児の踊り



佐治小学校児童の合唱



千代南中学校ブラスバンド部の演奏 R6. 8. 25

②鳥取県・鳥取市の取り組み

- 11月17日～12月9日の間、佐治川ダム下流部の浸水想定区域に関する地区(8集落)を対象に、当時の気象、ダム操作、洪水状況等を説明、課題等の協議を実施。
- 令和5年度の協議で抽出された課題への対策案を有識者、市、関係機関の意見を聞きながら検討。県がロードマップ(計画書・工程表)を作成。
- 作成したロードマップに基づき、短・中・長期の対策を県市で検討。
- 検討された対策等について、昨年度協議を行った自治会の代表者に説明。併せて協議も実施。(6/24、6/25)



佐治町対象地域での説明会の様子



有識者を交えた検討会議の様子

5 参考資料

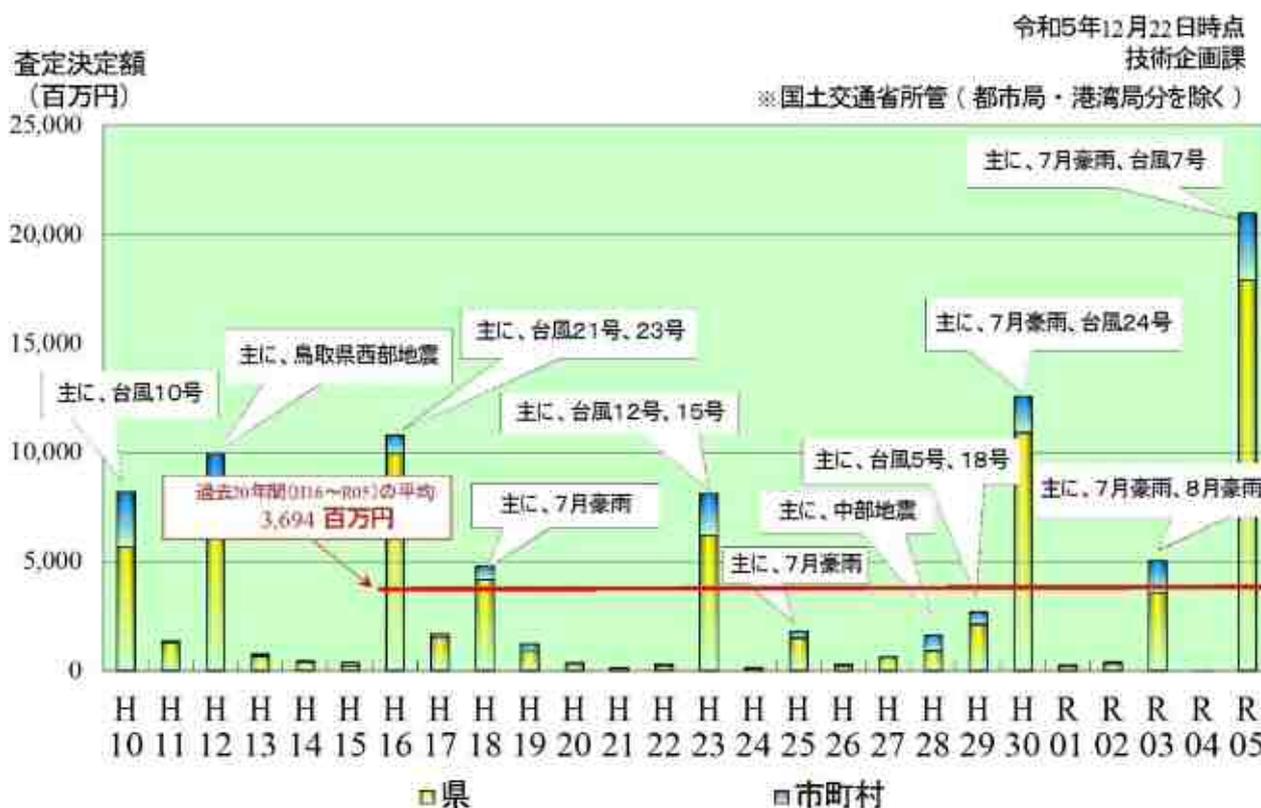
(1) 経費：鳥取市台風第7号災害復旧・復興予算額

鳥取市令和5年台風第7号災害復旧・復興本部会議（第3回 R6.8.28）資料から抜粋

| 年度 | 予算額 | 内容 | |
|---------------|---------|---|---|
| 令和5年度 最終予算 | 46.2億円 | 災害応急復旧関連 2.3億円 市道や林道の応急復旧、施設修繕など | 災害復旧工事関連 43.1億円 道路や農地などの災害復旧工事 |
| | | 避難所運営等関連 0.5億円 避難所や災害ボランティアセンター、保健師による健康観察など | 事業者支援関連 0.3億円 中小事業者の復旧、利子補助、農業施設復旧や農作物防除支援など |
| 令和6年度 当初予算 | 32.5億円 | →災害復旧工事関連 32.5億円 ・道路や農地などの災害復旧工事 | |
| 令和7年度 見込額 | 22.4億円 | →災害復旧工事関連 22.4億円 ・債務負担行為計上済（林道、河川、道路） | |
| 合計 | 101.1億円 | | |

(2) 鳥取県の公共土木施設災害復旧事業費

下のグラフは県技術企画課が作成したもので、平成10年～令和5年(26年間)の年度ごとの災害復旧事業費(査定額)である。事業費が100億円を超えたのは、平成12年鳥取県西部地震、平成16年台風災害、平成30年7月豪雨・台風24号災害と令和5年7月豪雨・台風7号災害の4回あるが、令和5年の災害は復旧費が200億円を超える甚大なものであったことがわかる。



(3) 災害復旧・復興本部の設置

目的 令和5年台風第7号災害からの迅速な復旧と被災者支援、農業維持、地域経済再生を含めた復興対策の実施など、各部局・総合支所が一丸となって、迅速かつ強力に被災地の復旧・復興を推進するため

設置日 令和5年8月21日

組織 本部長：市長 副本部長：副市長
事務局長（兼現地対策本部長）：総務部長（現地対策副本部長）
本部員：市民生活部長・各総合支所長・関係部局長

活動内容 被災者支援、インフラ復旧、農林・経済再生、学校・保育、保健・医療、情報管理

(4) 国による激甚災害指定

R5.9.22 指定見込通知 R5.10.12 施行

(5) 歳入に係る事項

特別交付税の増額 4.1 億円 (R5:29.0 億円、R4:24.9 億円)

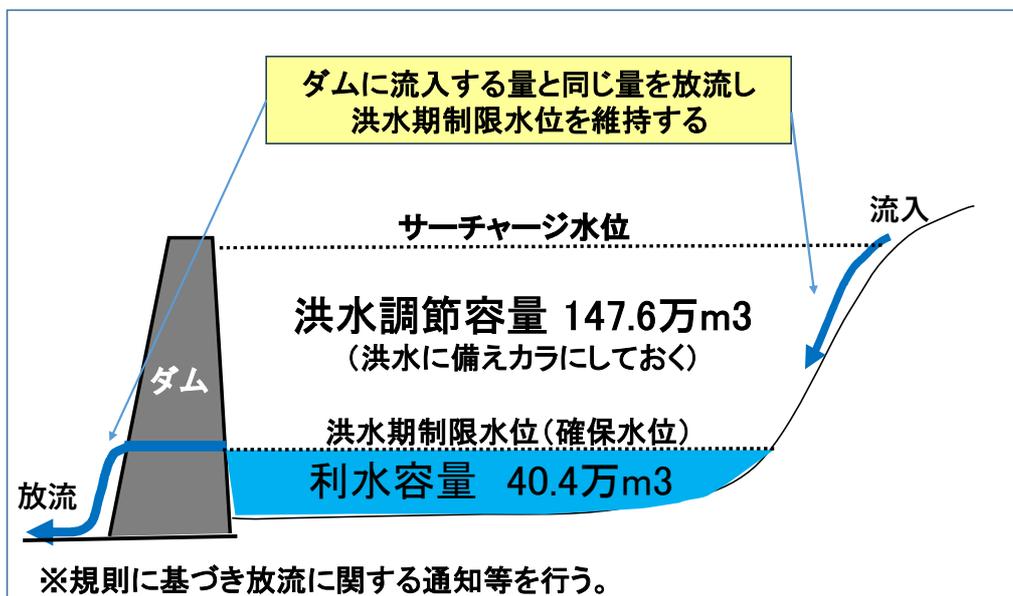
全国からの寄附金 1.2 億円 (ふるさと納税 1.0 億円 (企業 0.9 個人 0.1)、寄附金 0.2 億円)

(6) 佐治川ダムの放流操作

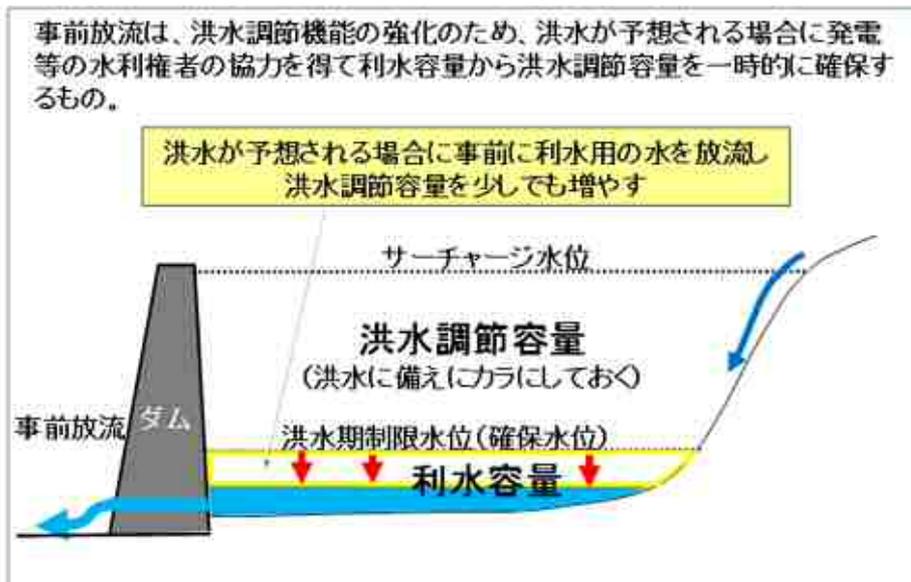
一般的な佐治川ダムの放流操作は次の①～④による。

サーチャージ水位とは、洪水時にダムが一時的に貯留する際の最高水位で、概ね100年に1度の確率で発生するような洪水時を想定した推移となります。

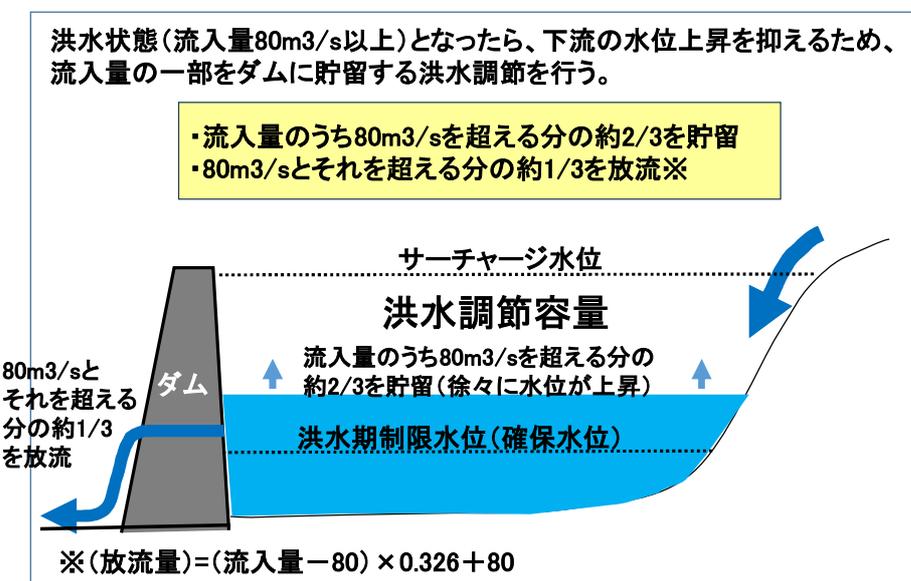
①通常時の放流



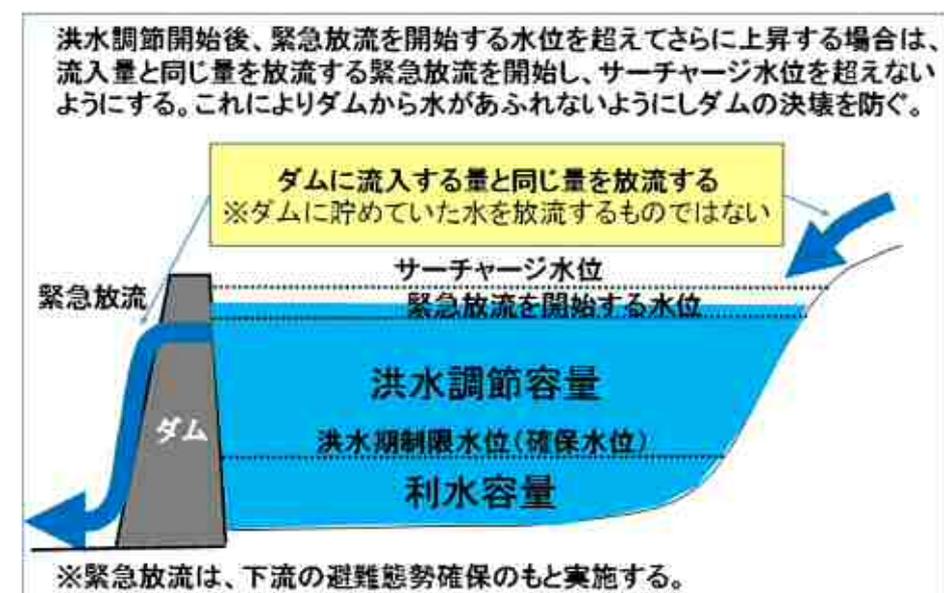
②事前放流（洪水調節機能の強化）



③洪水調整時の放流



④緊急放流（異常洪水時防災操作）



(7) 佐治川流域安全確保のロードマップ

| 項目 | 短期（概ね1年） | 中期（概ね3年） | 長期（3年以上） |
|-------------------|--|---------------------|----------|
| Ⅰ 防災意識 | 集落の防災活動の支援 | 以降継続 | |
| | 防災情報の積極的な情報発信 | 以降継続 | |
| Ⅱ 避難所、避難路 | 広域避難路の状況確認、バイパス整備等の検討 | | |
| | 指定避難所以外の安全な一時避難所の確保（集会所や個人） | 以降継続 | |
| | 避難者のニーズに即した備蓄品の提供体制の構築等 | 以降継続 | |
| | 早期や分散避難の呼びかけ | 以降継続 | |
| Ⅲ 防災情報の発信、ダム情報の周知 | WEBサイトの工夫・ダム管理回 | 以降継続 | |
| | 家屋危険倒壊ゾーンの公表 | 以降継続 | |
| Ⅳ 緊急時の情報伝達、安否確認 | 安否確認等の取組支援 | 以降継続 | |
| | 「音声告知端末」を通じたダム放送の検討 | 以降継続 | |
| | 放送サイレン内容の周知 | 以降継続 | |
| | 地元とのホットラインの構築 | 以降継続 | |
| | 放送サイレンの見える化（多色パトライトの設置等）の検討 | 以降継続 | |
| Ⅴ ダム操作・河川整備等 | ダムの構造・機能・操作方法の | 以降継続 | |
| | 早期の事前放流 | 気象予測と流入量予測システムの精度改善 | |
| | 災害復旧の推進と施設弱部の機能強化の検討、及び河道掘削の実施 | | |
| ★ その他 | 防災意識の向上×ダム機能の周知×防災訓練×ダムの魅力発信＝流域の防災力向上 流域の特徴でもある「ダムを基軸とした、コミュニケーションの場の創造と提供の取組」の推進 | | |

(8) 佐治川流域安全確保協議会意見交換内容

①意見交換会の目的

令和5年台風第7号に伴う大雨により、佐治川流域では災害や孤立集落が集中的に発生し、佐治川ダムでは竣工以来初めてとなる緊急放流を行った。

この状況を踏まえ、各関係機関、流域関係者への情報伝達や避難状況等について振り返り、流域住民との意見交換を通して、流域の安全確保に係る改善点の抽出等を行うとともに、ダム管理(放流含む施設・運用管理)においても改善の余地などがないか協議を行ったもの。

②日時

令和5年11月17日～19日、同月21日、25日、29日、同年12月2日、9日の8日間

③場所

佐治川ダム緊急放流時に浸水が予想された地区を対象(各集落集会所で実施)

(葛谷、古市、森坪、下加瀬木、加瀬木、湊尻、河本、尾際の8地区)

④出席者

- ・各集落住民
- ・鳥取県県土整備部河川港湾局河川課、鳥取県土整備事務所計画調査課
- ・鳥取市危機管理課、鳥取市佐治町総合支所

⑤各集落からの主な意見概要

- 15時頃までは川の様子を見てもさほど危険とは感じなかったが、その後急激に水位が上がった。
- ダムの放送サイレンは、豪雨や洪水の状況では家の中にいると内容までは確認できない。また、放流量やどの程度危険なのかも併せて知りたかった。
- 避難の目安は、自分が住んでいる場所の条件が違うため、個人によって目安が異なる。
- 台風の時にはダムを予め空っぽにできないか。また、急激な水位上昇とならないよう段階的に放流ができないか。
- ダムだけに頼っているのはダメで、集落単位で予め避難拠点を決めておくことや、行政と連携した避難訓練、集落内の声かけや普段からコミュニケーションが重要。
- 避難の声かけをして回ったが、安否確認ができなかったこと。早めに避難して家にいないのか、そうでないのか。電話もつながらず困った。
- 集落毎の危険性と避難所を集落毎で話し合いきちんと事前に決めておくことが必要。
- 今回の災害を教訓に防災訓練を実施し、市が防災マニュアルを作ることが必要。
- ダムの状況について年配の方へも配慮した上で、住民への情報提供が必要。
- 浸水想定やインターネットでのダム情報の配信について、住民が知らないと意味がない。
- 避難に関して、集落の連絡網や見守り役など災害時の体制を考えないといけないと思う。
- 防災行政無線、防災ラジオ、告知端末、インターネット等では、国・県・市が様々な媒体で情報発信しているが、メリット(個人にあった情報の受け取り方法がある)・デメリット(情報が多すぎて困る)がある。
- 自助・共助が重要であることを理解しており、地元は一生懸命頑張っているため、公助(避難所設備の充実等)の部分で後押ししてほしい。

- 河川改修が必要ではないか。
- 今度、地元でも今回の災害を踏まえた振り返りをする機会を設けようとしている。
- 一人暮らしの家などを手分けして声かけをしたが、高齢者や足元の悪い方もいるため避難されない方も多かった。
- ダム貯水池内の堆砂や河川内の堆積土砂について適切に管理されていたのか。
- 今回の災害を踏まえ、災害時には道路寸断等により避難できない可能性もあるので、早めの避難を行いたい。

各集落での意見交換会の様子



(9) 災害を伝える新聞記事

以下の新聞記事は新日本海新聞社のご厚意により提供していただいたものです。

日本海新聞 R5.8.16 写真は用瀬町別府の国道482崩落現場

鳥取市 記録的豪雨

台風7号、佐治で511ミリ観測



濁流に削られて崩落した国道482号。15日午後6時46分、鳥取市用瀬町別府

台風7号は15日夕方から夜の初め、えんがけて鳥取県に最接近し、県内は猛烈な雨に見舞われた。早朝から県東部を中心に線状降水帯が発生。気象庁は大雨特別警報を発令し、同日夕方には八頭町の私都川が氾濫した。同町の一部と鳥取市と舞浦町で最も警戒を要するレベル5の避難情報（緊急安全確保が発出された。同市の佐治川ダムも初めて緊急放流を行った。午後7時現在、人的被害の報告はない。16日も引き続き土砂災害などへの警戒が必要となる。

（20、23面に関連記事）

鳥取地方気象台は、15日野町で470.5ミリ、智頭早朝から午前8時までに馬町で308.6ミリ、倉吉市関金町で227.7ミリ、鳥取市吉方町で214.4ミリを観測した。鳥取市吉方と智頭町でも、観測的短時間大雨情報を発令史上最大の24時間総雨量を表した。鳥取市内では竜巻も発生したとみられる。

同日午後9時10分までの24時間総雨量が県内で最も多かったのは鳥取市佐治町で、観測史上最大の511.1ミリを記録。このほか同市鹿



電子版無料公開します

15日夕方から夜にかけて、台風7号が強い勢力を保ったまま鳥取県に最接近しました。紙面制作・配送には特別機材を取りましたが、記録的な大雨と暴風に伴う交通障害が予想され、一部の地域で配達が遅れる場合がありますので何とぞご了承ください。16日付本紙の電子版は日本海新聞ホームページで無料公開しています。 新日本海新聞社

値を越えたため、午後4時40分に緊急放流。佐治川の水位上昇により同川に架かる鳥取市佐治町の高山橋の一部が崩落、下流の同市用瀬町の国道482号の路肩もえぐり取られた。

鳥取市では午後10時半現在、佐治町に集落、河内、国府町雨滝の計14集落（計494世帯1053人）が孤立状態となっている。県内では鳥取市全域（8万1915世帯18万1859人）、八頭町の上私都・中私都地区（計449世帯1180人）、舞浦町全域（6789世帯1万6237人）で緊急安全確保が発令された。佐治川、倉吉市全域と三朝町全域に警戒レベル4の「避難指示」が出た。鳥取市や三朝、伯耆町で停電も発生。午後8時現在、県内94カ所の避難所に148人が避難している。

鳥取空港の発着便は、鳥取発の始発便を除く9便全便が欠航。JR山陰線や伯耆線などの特急列車は終日運休となった。16日の鉄道ダイヤも乱れ山陰線や因美線、伯耆線、若狭鉄道も終日運休の予定。増穂と智頭急行は通常運転の見込み。道路規制も相次いだ。鳥取道や山陰道鳥取西道路は全面通行止め。少なくとも県東部の国道を含む道路9カ所が通行止めとなった。県は15日夜、鳥取市と三朝町に対する災害救助法の適用を決めた。（取材班）



佐治町コミュニティセンター付近の被災状況。写真は16日午後7時ごろ、鳥取市佐治町で撮影。中村隆日本海新聞記者撮影。佐治町コミュニティセンター付近の被災状況。



佐治町コミュニティセンター付近の被災状況。写真は16日午後7時ごろ、鳥取市佐治町で撮影。中村隆日本海新聞記者撮影。佐治町コミュニティセンター付近の被災状況。

台風7号 深い爪痕 鳥取県東中部

台風7号による記録的豪雨から一夜明けた16日、鳥取県では被害状況の確認が本格化した。橋や道路が崩落し、集落が孤立。家々を襲われた。土砂にまみれた家屋では、住居が崩壊作業に追われた。各地の被害の爪痕をカメラで追った。



台風7号の影響で倒壊した道路。幸前は佐治川。16日午前9時15分、鳥取市（共同通信社ヘリから）



佐治町コミュニティセンター付近の被災状況。写真は16日午後7時ごろ、鳥取市佐治町で撮影。中村隆日本海新聞記者撮影。佐治町コミュニティセンター付近の被災状況。



道路が崩れ、鳥取県佐治町で撮影。幸前は佐治川。16日午前10時15分、三原町内川の加藤川



佐治町コミュニティセンター付近の被災状況。写真は16日午後7時ごろ、鳥取市佐治町で撮影。中村隆日本海新聞記者撮影。佐治町コミュニティセンター付近の被災状況。



佐治町コミュニティセンター付近の被災状況。写真は16日午後7時ごろ、鳥取市佐治町で撮影。中村隆日本海新聞記者撮影。佐治町コミュニティセンター付近の被災状況。



「同じ場所で激しい雨」気象庁
台風7号の接近に伴い、近畿西部から中部にかけて、15日(木)から16日(金)にかけて、激しい雨が降り、河川が増水し、土砂災害の危険が高まっています。気象庁は、15日(木)から16日(金)にかけて、近畿西部から中部にかけて、激しい雨が降り、河川が増水し、土砂災害の危険が高まっています。



高野町中流れる三洲川の三洲大橋平川町にある河川敷の遊歩道や田舎路などが洪水で浸された。15日午後3時5分、鳥取県三洲町三洲川中流



洪水が激しく、崩壊した橋脚。15日午後の撮影。鳥取県八幡町中流

台風7号 近畿縦断

台風7号は、15日(木)午後1時、近畿西部から中部にかけて、激しい雨が降り、河川が増水し、土砂災害の危険が高まっています。気象庁は、15日(木)から16日(金)にかけて、近畿西部から中部にかけて、激しい雨が降り、河川が増水し、土砂災害の危険が高まっています。

台風7号は、15日(木)午後1時、近畿西部から中部にかけて、激しい雨が降り、河川が増水し、土砂災害の危険が高まっています。気象庁は、15日(木)から16日(金)にかけて、近畿西部から中部にかけて、激しい雨が降り、河川が増水し、土砂災害の危険が高まっています。

©新日本海新聞社 無断複製・無断転載を禁じます

日本海新聞 R5. 8. 16 左上は佐治町コミュニティーセンターへの避難者



三洲川を激しく流れる洪水。15日午前10時15分、鳥取県三洲町中流

台風7号は、15日(木)午後1時、近畿西部から中部にかけて、激しい雨が降り、河川が増水し、土砂災害の危険が高まっています。気象庁は、15日(木)から16日(金)にかけて、近畿西部から中部にかけて、激しい雨が降り、河川が増水し、土砂災害の危険が高まっています。

「命の危険感じた」 鳴り響く警報音、避難急ぐ

台風7号、鳥取県東中部

©新日本海新聞社 無断複製・無断転載を禁じます

ソフト面に課題か

検証・佐治川ダム緊急放流

避難、治水 意識浸透が必要

鳥取県中部を占む、インフラが脆弱な鳥取県中部。台風7号の被害は、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。佐治川ダムが緊急放流したことで、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。佐治川ダムが緊急放流したことで、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。

鳥取県中部を占む、インフラが脆弱な鳥取県中部。台風7号の被害は、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。佐治川ダムが緊急放流したことで、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。

鳥取県中部を占む、インフラが脆弱な鳥取県中部。台風7号の被害は、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。佐治川ダムが緊急放流したことで、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。

鳥取県中部を占む、インフラが脆弱な鳥取県中部。台風7号の被害は、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。佐治川ダムが緊急放流したことで、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。

| 時刻 | 水位(m) | 貯水(m) | 貯水量(万m ³) | 貯水率(%) | 貯水量(万m ³) | 貯水率(%) |
|-----------|-------|-------|-----------------------|--------|-----------------------|--------|
| 14日 0:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 14日 3:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 14日 6:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 14日 9:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 14日 12:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 14日 15:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 14日 18:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 14日 21:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 15日 0:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 15日 3:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 15日 6:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 15日 9:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 15日 12:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 15日 15:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 15日 18:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 15日 21:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 16日 0:00 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

特別警報の鳥取で橋崩落

鳥取県中部を占む、インフラが脆弱な鳥取県中部。台風7号の被害は、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。佐治川ダムが緊急放流したことで、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。

鳥取県中部を占む、インフラが脆弱な鳥取県中部。台風7号の被害は、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。佐治川ダムが緊急放流したことで、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。

鳥取県中部を占む、インフラが脆弱な鳥取県中部。台風7号の被害は、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。佐治川ダムが緊急放流したことで、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。

鳥取県中部を占む、インフラが脆弱な鳥取県中部。台風7号の被害は、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。佐治川ダムが緊急放流したことで、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。

鳥取県中部を占む、インフラが脆弱な鳥取県中部。台風7号の被害は、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。佐治川ダムが緊急放流したことで、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。

鳥取県中部を占む、インフラが脆弱な鳥取県中部。台風7号の被害は、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。佐治川ダムが緊急放流したことで、鳥取県中部に甚大な被害をもたらした。

©新日本海新聞社 無断複製・無断転載を禁じます 日本海新聞 R5. 8. 18

日本海新聞 R5. 8. 18

谷担当相「予算を確保」

谷担当相「予算を確保」。平井知事ら早期支援要望。台風7号の県内被災地視察。平井知事ら早期支援要望。台風7号の県内被災地視察。

谷担当相「予算を確保」。平井知事ら早期支援要望。台風7号の県内被災地視察。平井知事ら早期支援要望。台風7号の県内被災地視察。

谷担当相「予算を確保」。平井知事ら早期支援要望。台風7号の県内被災地視察。平井知事ら早期支援要望。台風7号の県内被災地視察。



孤立きょうにも解消

孤立きょうにも解消。鳥取県5集落通行復旧急ぐ。鳥取県5集落通行復旧急ぐ。鳥取県5集落通行復旧急ぐ。

孤立きょうにも解消。鳥取県5集落通行復旧急ぐ。鳥取県5集落通行復旧急ぐ。鳥取県5集落通行復旧急ぐ。

孤立きょうにも解消。鳥取県5集落通行復旧急ぐ。鳥取県5集落通行復旧急ぐ。鳥取県5集落通行復旧急ぐ。



©新日本海新聞社 無断複製・無断転載を禁じます

台風7号 鳥取県内の主な被害

| | |
|--------|------------------------|
| 住家被害 | 全壊1棟、浸水10棟、床上10棟、床下40棟 |
| 孤立集落 | 最大28地域 (857世帯1820人) |
| 上水道の断水 | 最大16地域611戸 |
| 公共土木施設 | 河川95カ所、道路143カ所、港湾1カ所 |
| 農林水産関係 | 農作物や施設、林道など28億円以上 |

※21日までの県発表資料から作成

県は同日、災害復旧・復興本部の初会合を開き、被害が深刻な鳥取市佐治町加瀬川の同町コミュニティセンター内に同本部の現地事務所を設置することを決めた。県庁職員7人程度を配置し、市の現地対策本部と連携しながら、災害査定対応などの復旧・復興業務に努める。

被災した河川や道路など公共土木施設は、日常生活の回復に向けて緊急的な応急復旧を優先する。秋に災害査定を行い、年内にも工事着手する方針を示した。

今後の防災を掲げ、木十分な箇所は、川幅の拡張や堤防のかさ上げなど工費を強化した改良復旧を進めていくこととした。

鳥取市も同日、災害復旧・復興本部を設置した。職業務を事務局とし、被災者支援▽インフラ復旧▽農林・経済再生▽学校・保育▽保険・医療▽情報管理の6部門に分かれて、円滑な復旧に取り組み。

21日までに県が把握している被害報告によると、住家被害が1棟、浸水の被害など河川95カ所、県庁管道路

復興本部 被災者支援策を協議

台風7号

県、佐治に現地事務所

迅速復旧へ鳥取市と連携

台風7号の被害を受けて、鳥取県と鳥取市は21日、応急復旧に関する会議をそれぞれ開いた。会議では被災地の迅速な復旧と被災者支援、地域経済の再生を強めるための対応策を協議した。上水道の断水状態は最大16地域611戸に上ったが、同日中にも残る地域で復旧される。

(松本知子、中村美幸子)

143カ所のほか、鳥取港に河川から流出した漂着物が堆積した。

上水道は鳥取市佐治町八頭町と八頭町で、最大16地域611戸が断水状態となった。同市佐治町の高山加瀬川地区の1カ所で断水が続いていたが、21日午後4時現在、復旧工事が完了した。水の回復がなれば同日中に使用できる。

©新日本海新聞社 無断複製・無断転載を禁じます 日本海新聞 R5. 8. 22



土砂などがなだれ込んだ梨農家のほ場を整備する鳥取県職員災害応援隊ら=21日、鳥取市佐治町高山

梨農家に災害応援隊

県職員ら土砂撤去に汗

鳥取県は21日、台風7号職員で構成する災害応援隊で被災した鳥取市佐治町やを派遣した。本格化する梨八頭町の梨農家などに、県の収穫や出荷に向け、職員ら汗がたぎるなか、土砂撤去に汗を流した。

鳥取県は21日、台風7号職員で構成する災害応援隊で被災した鳥取市佐治町やを派遣した。本格化する梨八頭町の梨農家などに、県の収穫や出荷に向け、職員ら汗がたぎるなか、土砂撤去に汗を流した。

このうち、佐治町高山に計1カ所のほ場を有する梨農家に入った応援隊は、午前と午後に分かれて約20人が作業。頭がつかえるほどの低い梨樹に注意しながら、流れ込んだ土砂をスコップなどで丁寧に取り除いた。援助作業は当面の間行われる見通しで、22日は別の果樹園でも作業を行う予定。県東部農林事務所の藤田俊二普及主任は「こまめで育った梨を、無事に収穫できるよさにお手伝いしたい」と話した。

(後藤昇一郎)

©新日本海新聞社 無断複製・無断転載を禁じます

道路復旧 10月着工へ

鳥取市が工事計画示す

鳥取市は25日、台風7号の復旧・復興本部会議を開き、豪雨被害で損傷した市道などの交通インフラや、農業用地に関する復旧スケジュールを示した。

道路などのインフラや農地に関する復旧事業は、市が復旧費用を単独で予算計

鳥取市のインフラ復旧工事のスケジュール

| | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月~ |
|---------------|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 道路 | 単独 | | | | | |
| | 補助 | | | | | |
| 河川 | 単独 | | | | | |
| | 補助 | | | | | |
| 農地・農業用施設・林道など | 単独 | | | | | |
| | 補助 | | | | | |

※単独＝単独事業、補助＝補助事業 (25日18時現在)

上する「単独災害」と、国の補助を受ける「補助災害」でスケジュールが異なる。道路復旧では、単独災害にあたる道路幅2.5m以下の市道や、復旧費用が60万円未満の工事は、来月開会する9月定例会に関連費用を計上し、10月の工事着手を目指す。補助災害の工事は12月半ばに始まる予定。

農地などの復旧は、工費が40万円未満の小規模工事は10月中の着工を目指す。えん堤の復旧やのり面の崩落対応など補助災害は、国の災害査定を10月中旬に開始し、工事を来年1月に始めたい考えを示した。深沢義彦市長は「本格的な復旧・復興の道のはじめからだが、全庁一丸となつて取り組むたい」と話した。(中村美美子)

©新日本海新聞社 無断複製・無断転載を禁じます

佐治町総合支所に 応援メッセージ

千代南中生徒が贈る

台風7号により甚大な被害に遭った鳥取市佐治町で



千代南中の生徒が寄せた応援メッセージ。24日、鳥取市佐治町加瀬木の町総合支所

復旧復旧作業にあたる職員や住民らを勇気づけようと、千代南中(同市用瀬町別府)の生徒が、佐治町総合支所に応援メッセージを寄せた看板を贈った。職員らは「元気づけられる」と喜んでいる。同中は「学校の力を地域の力に、地域の力を学校の力に」と掲げており、復旧に時間がかかることから、心を込めてエールを送ろうと企画。夏休み期間中に

登校した生徒数人と学校職員が「がんばろう佐治」「復興のためにがんばってください」などの言葉と共にイラストを添えた。25日には、保護者の送迎などで通常通り学校が再開。伊藤賢二校長は「子どもたちも地域の力の一助になりたい」と願いメッセージを寄せた」と明かし、住民の健康観察を担う鳥取市保健所の浮田恵里さんは「温かなメッセージに元気と力をもらえた」と感謝した。(三野夏美)

©新日本海新聞社 無断複製・無断転載を禁じます

被災者にぬくもりを

三朝温泉 台風断水の佐治町民支援

三朝町の三朝温泉で20日、台風7号による断水で入浴が困難となった人に、温泉の湯で心身の疲れを癒やしてもらう支援事業が始まった。鳥取市佐治町で被災した住民らが同温泉の温泉旅館を訪れ、ゆったりとしたひとときを楽しんだ。

同市佐治町加瀬木、高山岡地区の住民16人が同市佐治町総合支所から同温泉街にある三朝館（同町山田）まで送迎を受け、館内の大浴場を利用した断水以降、川の水を飲んで汗を流していた人もお汗、温泉につかってゆったりと足元を伸ばし



温泉につかり心身の疲れを癒やす鳥取市佐治町の住民ら＝20日、三朝町山田の三朝館

ながら夕々の湯船を満開。入浴後はプランナールでささ同町三朝に移動して、昼食を摂った。

参加した温泉家の上田は「高山は6日ぶりの入浴だ」とい。「断水後も農作業を止めるわけにいかず、風呂になめた水を浴びてほしい」とも気持ちいい」と

うれしそうに話した。同事業は被災者支援と、旅館が土砂崩れや浸水被害に遭った同温泉への風評被害対策として県三朝町、同温泉旅館協同組合などが実施した。刺川まる旅館を兼ねながら、21日まで行われる予定。（井田慎一）

©新日本海新聞社 無断複製・無断転載を禁じます

片側通行可能に

用瀬、佐治 国道482号 応急仮設工事終える

台風7号被害

約2週間ぶりに片側通行が可能になった国道482号を走行する車両。1日、鳥取市用瀬町別府



台風7号の記録的豪雨による影響で道路崩落や損壊により全面通行止めになっていた国道482号の鳥取市用瀬町別府―同市佐治町橋原間（約2.5キロ）の応急仮設工事が完了し、1日、終日での片側交互通行が可能になった。半月ぶりの通行再開に地元住民らは「ようやく通行できる」と復旧への一歩を喜んだ。

この日解除されたのは、国道482号の用瀬町別府の約600メートル、佐治町森坪―高山間の約1.5キロの区間。通行止めになって以降、時間制限での片側通行や迂回道路での走行となっていた。県道路企画課は同日までに道路の安全確認や通行止め看板の撤去作業を実施。午前5時に規制が解除されると、通勤や買い物などに向かう車が連なるよう

に通行した。

佐治町高山の長谷栄治さん（85）は「迂回道路は道幅が狭いし時間もかかった。買い物に行くにも困っていた」とほっとした様子。県災害復旧・復興本部同町現地事務所の奥本倫久所長は「何とか2週間で応急復旧にこぎつけた。住民の方々が以前の暮らしに戻れるよう、引き続き道路や河川復旧工事に対処していきたい」と話した。

また同日付で佐治小、さじアストロパーク、佐治町B&G海洋センター、因州和紙伝承工房がみんくすじが再開された。

（三野夏美）

©新日本海新聞社 無断複製・無断転載を禁じます

台風被災 佐治町復興役立てて 宮ノ下小児童が市に寄付



深沢市長(左)に集めた募金を手渡す
松本さん(右)と伊吹さん

鳥取市

台風7号で被害を受けた鳥取市佐治町の復興に役立ててもらおうと、同市国府町宮ノ下の宮ノ下小の児童が9月28日、鳥取市役所を訪れ、校内で実施した募金活

動の浄財を深沢義彦市長に手渡した。市役所を訪れたのは、6年の伊吹愛美さん(10)と松本梨那さん(12)。募金は9月5、12日に児童玄関などで行い、2万9724円が集まった。

同小の6年は昨年の夏に佐治町で林業体験などの宿泊学習しており、募金は「お世話になった皆さんのために、自分たちも何かできなにか」と、5、6年の児童が企画したという。

募金を受け取った深沢市長は「復旧に向けて一生懸命取り組んでいるので、頂いた寄付は災害復旧に活用させてもらいたい」と、感謝を述べた。

「橋の復旧などに使ってほしい」と伊吹さん。松本さんは「つらい思いをしている皆さんに元気になってもらいたい」と願いを込めた。(中村美美子)

佐治町総合支所だより

編集・発行 鳥取市佐治町総合支所 地域振興課 〒689-1313 鳥取市佐治町加瀬木2519-3
☎0858-71-1912 ☎0858-89-1552 ✉sj-chiiki@city.tottori.lg.jp

● 支所・主な施設への直通電話 ●

- | | | |
|-----------------|-------------------------|----------------------|
| ■地域振興課 ☎71-1912 | ■教育委員会分室 ☎71-1917 | ■国保診療所 医科 ☎88-0127 |
| ■市民福祉課 ☎71-1914 | ■佐治町コミュニティセンター ☎88-0228 | ■歯科 ☎88-0818 |
| ■産業建設課 ☎71-1916 | ■セピアストロパーズ ☎89-1011 | ■佐治人權福祉センター ☎88-0806 |
| ■さじ保育園 ☎88-0850 | ■佐治小学校 ☎88-0351 | ■千代南中学校 ☎87-2014 |

令和5年9月1日現在(前月比) 人口/1,592人 (-5) 男/749人 (-1) 女/843人 (-4) 世帯数/732世帯 (-3)

「頑張ろう！佐治」「元気です！佐治」



復旧工事が進められている国道482号線の森坪付近



被災民家で土砂運び出しをしていただいた災害ボランティア



9月1日より学校が再開し、登校した佐治小学校の児童

8月15日に通過した台風第7号は佐治町に記録的な大雨を降らせ、気象台の観測によりますと町内では平年8月1か月の3倍を超える総雨量となりました。そのため、町内の水道、電気、電話のライフラインや道路、橋、民家などに甚大な被害をもたらし、当日多くの方が避難所で不安な夜を過ごされました。

関係者の尽力により、ライフラインや道路の一部区間の復旧となり、少しずつ日常生活を取り戻しつつあります。今こそ、「頑張ろう！佐治」「元気です！佐治」のスローガンのもと、この難局を乗り越えましょう。



災害支援物資、災害ボランティア有難うございました。

被災の中、迂回路が確保され次第、狭く急カーブの続く迂回路を通して、様々な団体や個人が水や食料の支援物資を届けていただきました。断水時の飲料水や買物困難者の食料として使わせていただきました。また、災害ボランティアでは、延べ228人(9月1日現在)の方が佐治町に駆け付けて、暑い中、土砂運びなどを行っていただきました。大変有難うございました。



令和5年台風第7号の佐治町の災害支援に係る寄付金の贈呈を受けました。
 【株式会社八芳園様、長谷 収様(株式会社八芳園オーナー)】

令和5年9月6日に、株式会社八芳園様及び株式会社八芳園オーナーである長谷 収様より、令和5年台風第7号の佐治町の災害支援として寄付金8,000,000円(株式会社八芳園様 5,000,000円、長谷 収様3,000,000円)の贈呈を受けました。寄付金の贈呈式では、鳥取市を代表して深澤義彦市長と下田俊介佐治町総合支所長が出席し寄付金を受け取るとともに、感謝状の贈呈と市長より「佐治町の復興に使わせてもらいます。」とのお礼が述べられました。



八芳園オーナーの長谷 収氏(右から2番目)と執行役員の工野優理氏



山側からの水が流入して、泥だらけになった記念ホール

今回の台風第7号により、佐治町においての鳥取市の所管部分では、市道佐治中央線道路や高山橋の崩落、市道への土砂流入や総合支所のプラザ佐治記念ホールに山側から水が流入して泥だらけになるなど、判明しているだけでも甚大な被害が生じました。

贈呈を受けました寄付金については、今後佐治町で必要となる復旧経費の財源として充てさせていただきます。佐治町が結ぶ縁でこの度寄付をお受けいたしました。改めて「佐治愛」に感謝いたします。

お口から健康へ
 ~ふれあいデイサービスで歯科教室~

7月27日、西佐治会館でのふれあいデイサービスで歯科教室が開催されました。デイ参加者は、佐治診療所の歯科衛生士より、噛むことや誤嚥予防の大切さ、歯ブラシの選び方・磨き方の説明を聞くとともに、飲み込む力を改善する



体操に取り組みました。また、検査用グミにより噛む力を確認し、口の個別相談では専門家よりアドバイスを受けていました。

登山中の事故や道迷いにご注意を



10月は気候もよく、登山を行う人が増える季節です。以下の点に注意しながら、登山を楽しみましょう。

- ・悪天候が予想される場合は、中止・延期を検討する。
- ・入山時は登山届を提出し、家族にも登る山を伝える。
- ・登る山に見合った装備や食料を携行する。
- ・山の中は暗くなりやすいため、早めの行動をとる。



【問合せ先】八頭消防署用瀬出張所 ☎ 87-3111

佐治ふるさと祭り実行委員会からのお知らせ
 —「頑張ろう!佐治」「元気です!佐治」—



以前に開催されたふるさと祭り

9月6日の役員会において、今年度の佐治ふるさと祭りを予定どおり11月12日(日)に開催することが確認されました。ご支援、ご協力をお願いします。

千代南中学校より応援メッセージ届く

千代南中学校の教職員・生徒の皆さんよりの応援メッセージを支所入口に設置しております。生徒の方のメッセージを紹介いたします。「1日でも早く、いつも通りの日々が戻ることを願っています。いつもの佐治をとり戻すためがんばってください。」



おわりに

災害に強い佐治町創り事業実行委員会

令和5年台風第7号災害記録編纂委員会 委員長

田中精夫

盆のさなかの8月15日、突然襲った台風は、強風と集中豪雨をまねき、佐治町に甚大な被害をもたらしました。台風の翌日、自宅から用瀬まで軽トラックで走り抜けてみると、町内のあちこちで道路が壊れ、土砂があふれ、水道管が露出し、佐治川も勢いよく流れていました。高山橋が折れ曲がり、古い刈地橋もなくなっていました。これは私の70年間の生涯の中で初めて目にした光景でした。これから一体佐治はどうなるのだろうか。もう佐治に住めなくなるのではないだろうか、と不安に襲われた瞬間でした。

それから一年、関係者の努力により佐治町内の被災現場は、みるみる復旧が進み、国道や県道、市道も、農地も、もう少しで元通りになるところまで復旧してきました。これなら安心だ。前よりも丈夫な護岸、道路になったのではないか。これなら佐治町で安心して暮らしていけると確信しました。

さて、この冊子は令和5年8月15日台風第7号により佐治地域を襲った大規模災害の被害の状況や応急復旧・復興に向けての状況、災害支援の取り組みなどの概要をまとめたものです。この大災害の記録を決して風化させることなく次代に伝えていくとともに、万が一の災害に備えて、今後の防災・減災対策に生かされるよう願って作成しています。

鳥取市佐治町を襲った台風災害以後も、石川県能登半島で発生した大地震や記録的豪雨、日向灘地震など全国各地で自然災害被害が頻発しています。鳥取市は比較的災害が少ない地区とされてきましたが、このような大災害に見舞われました。この災害を通して得た様々な経験や教訓を全市で共有し災害に強いまちづくりにつなげていくとともに関係機関や他団体の災害対策に少しでも役に立つことができれば幸いと考えています。

佐治町の本当の復興は、復旧後の佐治町で住民が以前にもまして、生き生きとたくましく佐治町で暮らしていくことと考えます。今から58年前の台風災害では、住民が一丸となって地域改善に取り組み、その後は、飯盛山梨団地の造成・梨づくり、佐治和紙の振興、プラザ佐治の新築、学校新築、さジアストロパークの新設など元気で明るいまちづくりに努めました。あの勢いを思い起こして佐治町を活力ある地域にしたいものです。

最後に、本誌の刊行に当たりまして鳥取県及び鳥取市をはじめ、新日本海新聞社、そのほか多くの関係者の方々に資料提供等でお世話になりました。心より感謝申し上げます。

令和5年台風第7号に係る災害記録編纂委員会規約

(名称及び所在地)

第1条 本会は、令和5年台風第7号に係る災害記録編纂委員会（以下「委員会」という）と称し、事務所を特定非営利活動法人さじ未来に置く。

(目的)

第2条 委員会は、令和5年8月に発生した台風第7号の、発生当時の状況、被害状況、復旧状況などの情報の収集を行い、要因などを検証し記録誌としてまとめ、災害の振り返りやこれからの地域で必要と思われる災害関連の各種取組み検討のための資料として後世に残すことを目的とし、これからも安心して住み続けられる地域創りの一助となることを目指す。

(構成員)

第3条 委員会の委員は次の関係団体等からの代表者をもって組織する。

- (1)佐治町自治連合会
- (2)佐治町自主防災会
- (3)佐治町まちづくり協議会
- (4)学識経験者

2 必要に応じて実行委員会にオブザーバー等を置くことができる。

(事業等)

第4条 委員会は、次に掲げる事業を実施する。

- (1)令和5年8月発生 of 台風第7号災害に係る被災状況等の情報収集
- (2)上記(1)の情報分析と記録
- (3)その他、第2条の目的達成に必要な事業等

(役員等)

第5条 委員会に次の役員を置き、委員の互選で選出する。

- (1)委員長 1名
- (2)副委員長 1名

2 委員長は、実行委員会を総理し代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故がある場合には、副委員長がその職務を代理する。

4 役員の任期は1年とし再任は妨げない。なお、欠員により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(記録誌編纂会議)

第6条 委員長が必要と認めたとき及び委員から要求があったときには、委員長は記録誌編纂会議を招集する。

2 記録編纂会議は次の事項を協議する。

- (1)情報の収集方法
- (2)誌面に掲載する情報の選定
- (3)誌面形式の確認(デジタルデータを含む)

(4) 誌面の公開方法

(5) その他委員長が必要と認めた事項

(委員会の経費)

第7条 委員会の経費は、補助金、寄附金、その他の収入をもってあてる。
(会計年度)

第8条 委員会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。
(雑則)

第9条 この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附則

この規約は、令和6年7月18日から施行する。

令和5年台風第7号災害記録編纂委員名簿

任期：令和6年7月18日～

| | 役職 | 氏名 | 備考 |
|---|------|------|---|
| 1 | | 小谷繁喜 | 災害に強い佐治町創り事業実行委員会会長 [佐治町自治連合会会長] |
| 2 | | 中谷隆人 | 災害に強い佐治町創り事業実行委員会副会長 [佐治町自主防災会連合会会長] |
| 3 | | 下石聡子 | 災害に強い佐治町創り事業実行委員会委員 [佐治町まちづくり協議会副会長] |
| 4 | 委員長 | 田中精夫 | 学識経験者 |
| 5 | 副委員長 | 下田 稔 | 学識経験者 |

| オブザーバー | 氏名 | 備考 |
|--------|------|------------|
| | 下田俊介 | 佐治町総合支所支所長 |

協力者・資料提供者 (順不同)

鳥取県庁

鳥取県東部地域振興所

鳥取県鳥取県土整備事務所

日本赤十字社

鳥取市役所

鳥取市佐治町総合支所

新日本海新聞社

令和5年台風第7号災害と復旧・復興の記録

発行日 令和7年3月1日

編集者 令和5年台風第7号災害記録編纂委員会

発行者 災害に強い佐治町創り事業実行委員会

印刷所 有限会社福井印刷

〒680-0872 鳥取県鳥取市宮長 21-4

※本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じます。